降っても晴れてもHAPPY♪

お天気データで未来を描くアイデアコンテスト

～お天気データで私たちの暮らしをさらに便利で豊かに～

アイデアコンテストの概要

目次

1. アイデアコンテスト概要
2. 実施プログラム
3. 実施環境
4. 実施風景
5. ワークのプロセスと成果
6. アイデアの概要と一覧
7. コンテスト審査結果
8. アンケート集計結果

1.アイデアコンテスト概要

学生、気象ビジネス推進コンソーシアムの会員企業、気象予報士で編成されるチームが、気象・お天気をテーマに人々の暮らし・生活を豊かにする未来のサービスやビジネスソリューションをその場で考え、発表を実施。さらに、5名の審査員が、来場した見学者（オブザーバー）による投票結果とあわせてアイデアの審査を行い、結果発表、表彰を実施。

目的	・気象ビジネスコンソーシアムの活動を、報道などを通じて広く世間にアピールする ・参加者に世の中に流通している気象データの要素・形式など認知させ、活用の可能性について気づいてもらう ・気象予報士の活躍の場が拡大する可能性を探る目的
テーマ	降っても晴れてもHAPPY♪お天気データで未来を描くアイデアコンテスト ～お天気データで私たちの暮らしをさらに便利で豊かに～
開催日時	2018年1月19日(金)　10:00-17:30（交流会 17：30～18：30）
開催場所	富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター（東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 30階）
参加者	学生：17、企業会員：18名、気象予報士：8名　計43名 （8グループに分かれ（A～G）、グループ毎にアイデア創出）
審査員	村上 文洋 氏（審査員長、（株）三菱総合研究所 主席研究員、WXBC 新規気象ビジネス創出WG座長） 南 利幸 氏（気象予報士、（株）南 気象予報士事務所） 田原 春美 氏（先端IT活用推進コンソーシアム副会長、WXBC 人材育成WG座長） 吉本 豊 氏（経済産業省 商務情報政策局 商務情報政策統括調整官） 木村 達也　（気象庁 総務部 情報利用推進課長）

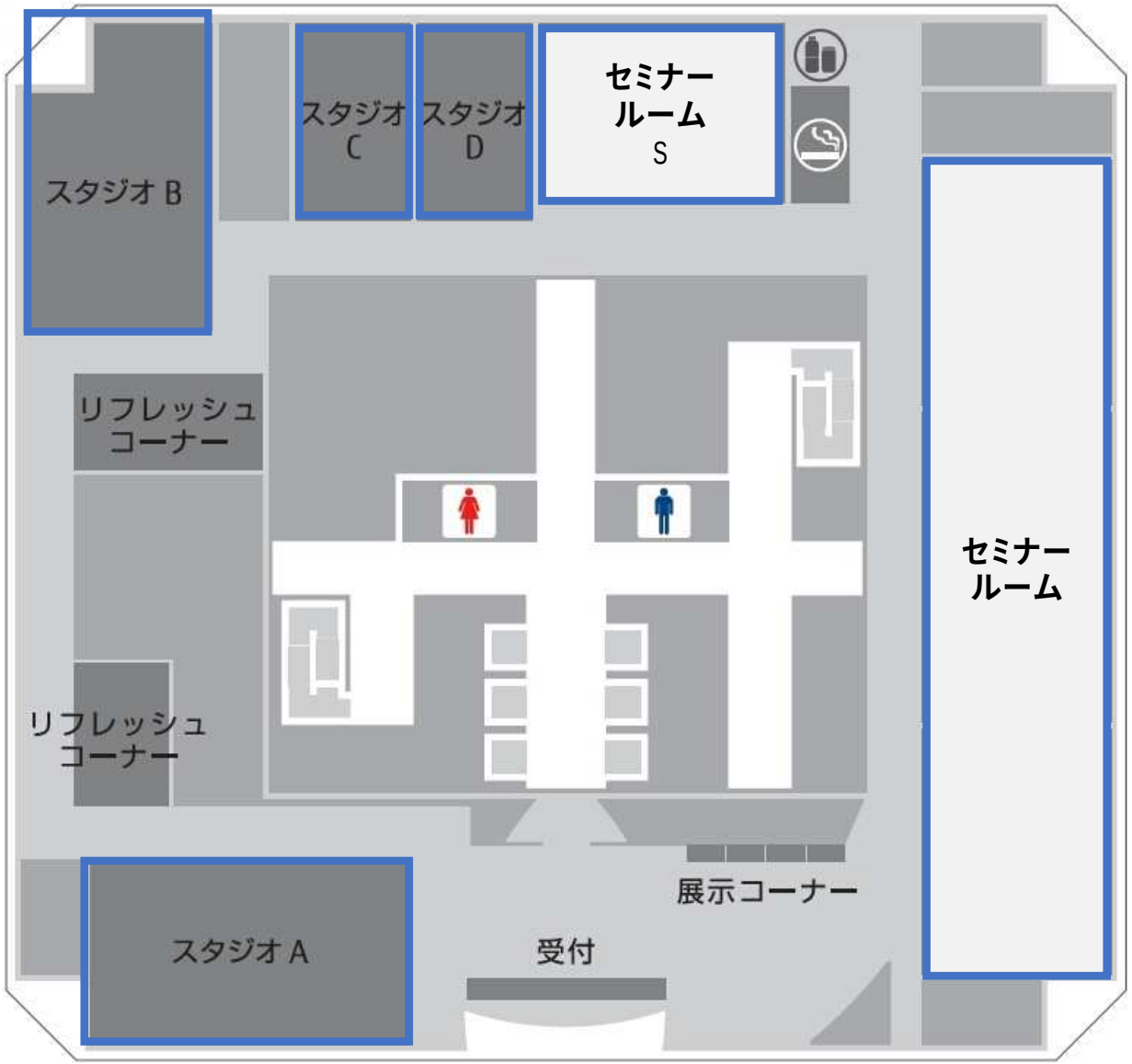
1.アイデアコンテスト概要

主催	気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) 気象庁
後援	経済産業省 先端IT活用推進コンソーシアム 一般社団法人日本気象予報士会 一般社団法人オープン＆ビッグデータ活用・地方創生推進機構 (VLED) 非営利活動法人気象キャスターネットワーク 東京大学大学院情報学環 ユビキタス情報社会基盤研究センター 地球ウォッチャーズ－気象友の会－
協賛	アサヒ飲料株式会社 ポッカサッポロフード＆ビバレッジ株式会社 リアルワールドゲームス株式会社 株式会社ハレックス 株式会社 日立製作所 富士通株式会社

2.実施プログラム

時間		内容
09:30～10:00	30分	開場
10:00～10:05	5分	開会ご挨拶　気象ビジネス推進コンソーシアム会長：越塚　登　様
10:05～10:10	5分	はじめに（本日の流れ/ご案内）
10:10～10:40	30分	インプット「お天気データの未来の“兆し”（最新技術の紹介/色々な気象サービス）」
10:40～10:55	15分	休憩/ワーク会場へ移動
10:55～10:35	40分	アイスブレイク（チームビルディング/気象予報士様お仕事紹介）
11:35～12:10	35分	Work①　＜知識共有＞　世の中にどんなお天気データがあるか考えよう
12:10～13:10	60分	昼休憩
13:10～13:45	35分	Work②　＜発想＞　キーワードで強制発想してみよう
13:45～14:40	55分	WorK③　＜具体化＞　アイデアを具体化しよう
14:40～15:40	60分	発表資料の作成
15:40～15:55	15分	休憩/発表会場へ移動
15:55～16:35	40分	グループ発表
16:35～17:05	30分	リフレクション ①アイデアフィードバック、②テンショングラフ/審査
17:05～17:25	20分	結果発表/表彰/審査員総評
17:25～17:30	5分	閉会ご挨拶/総評　気象庁長官　橋田　俊彦
17:30～18:30	60分	全体集合写真/交流会

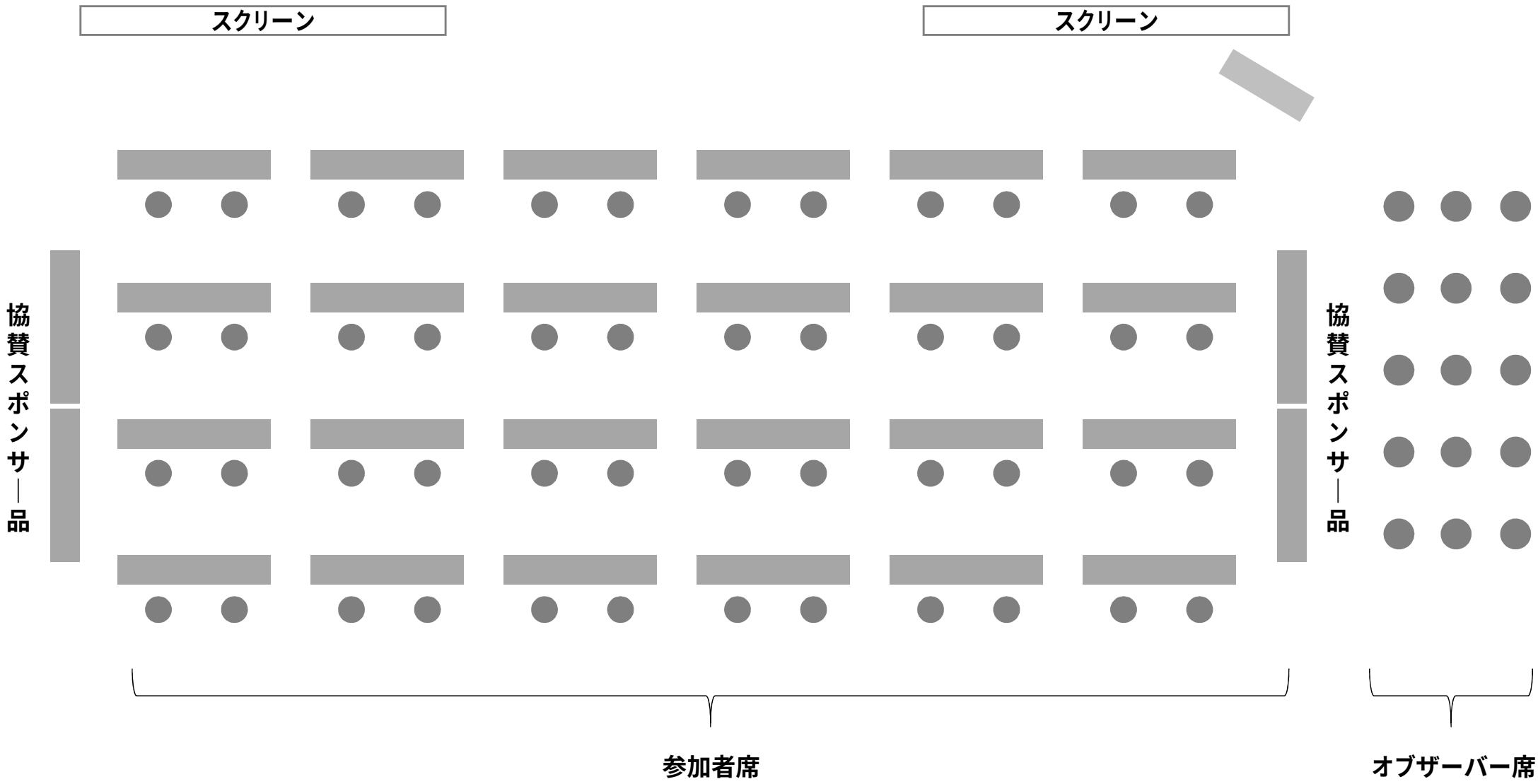
3. 実施環境
会場全体



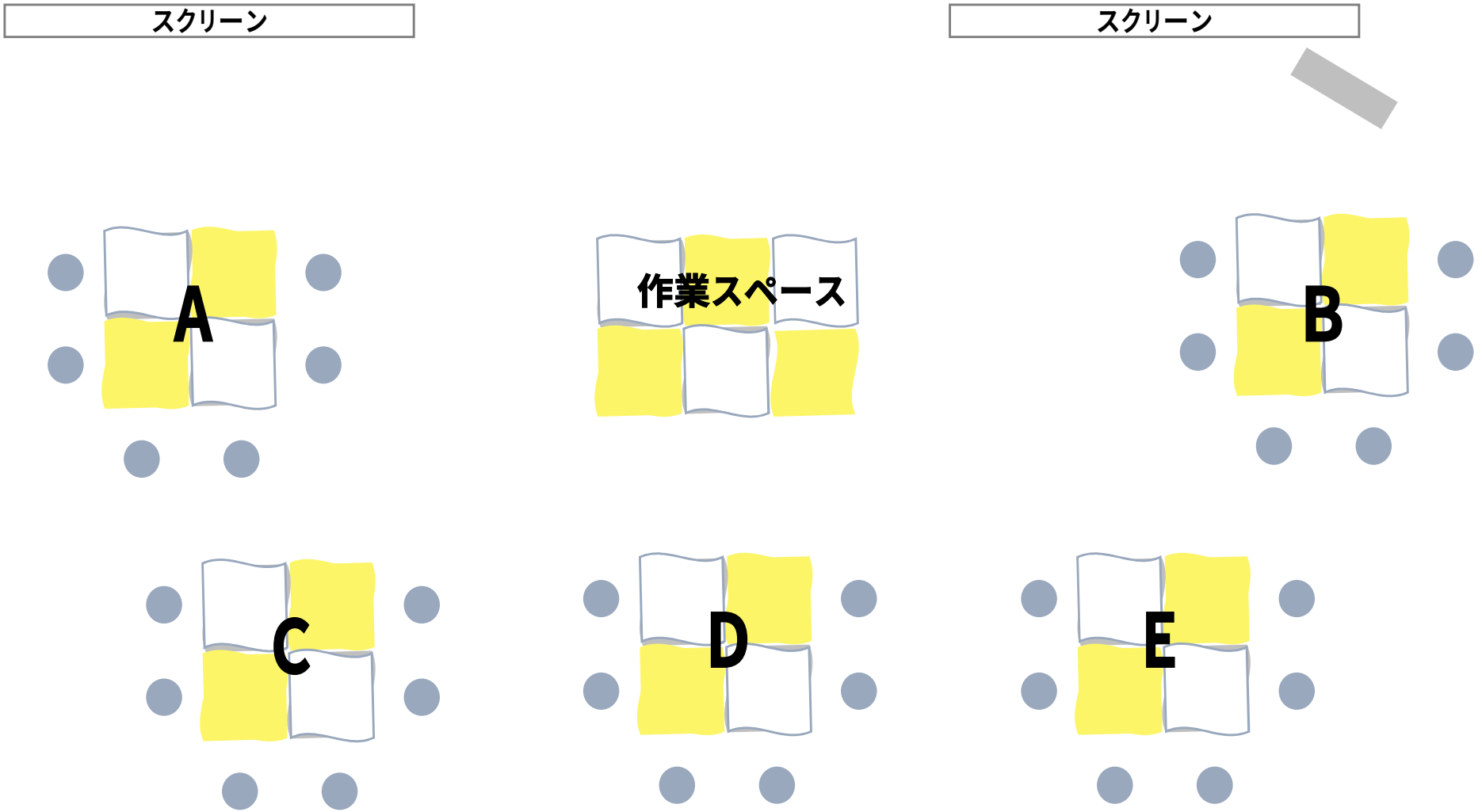
富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター30階

オープニング	
開会/インプット	セミナールーム
グループワーク	
ワークショップ	スタジオA スタジオB
コンテスト	
発表/表彰	セミナールーム
審査	スタジオD
控室	
関係者控室	セミナールームS スタジオC

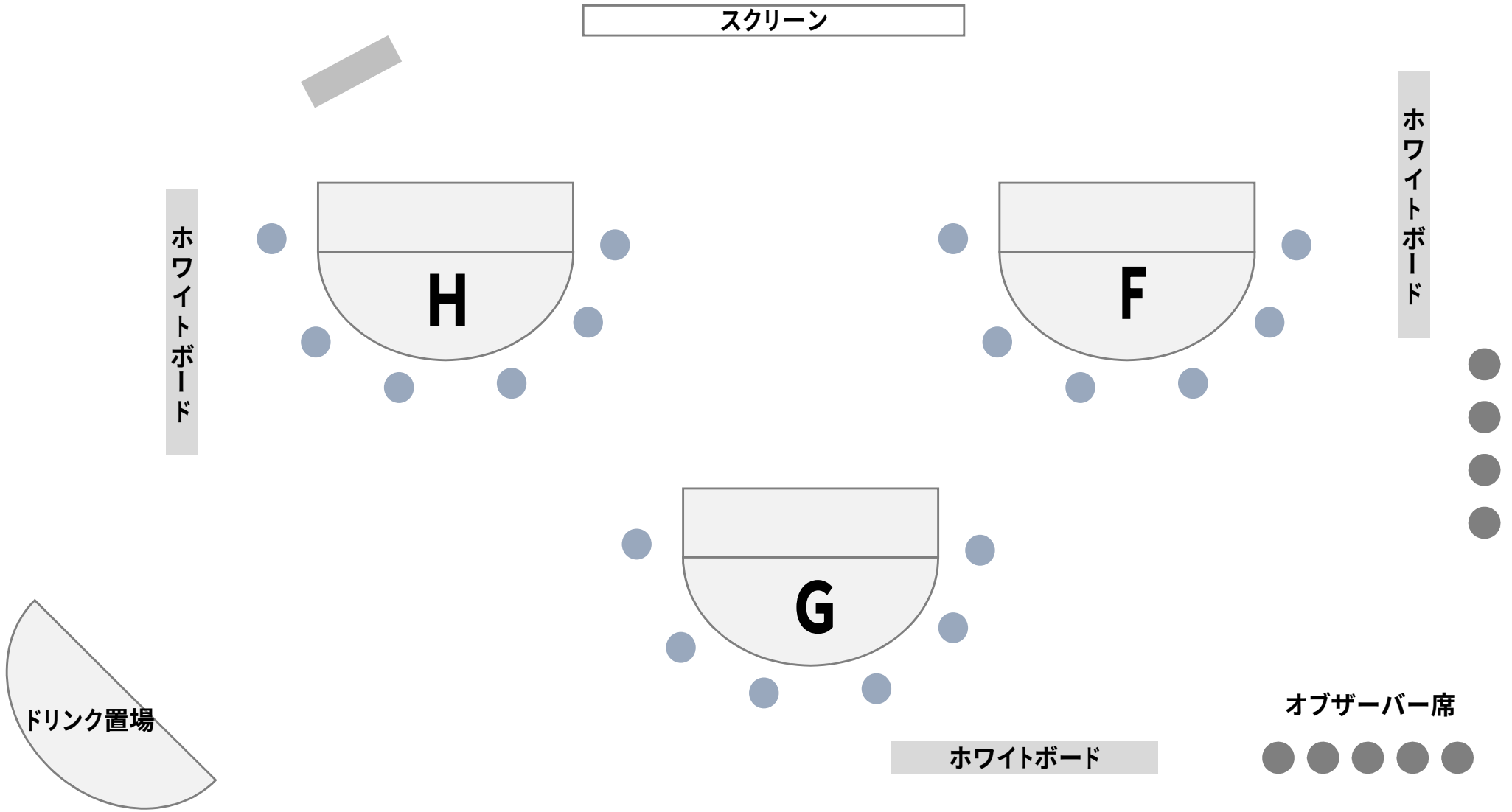
3. 実施環境
開会/インプット：セミナールーム



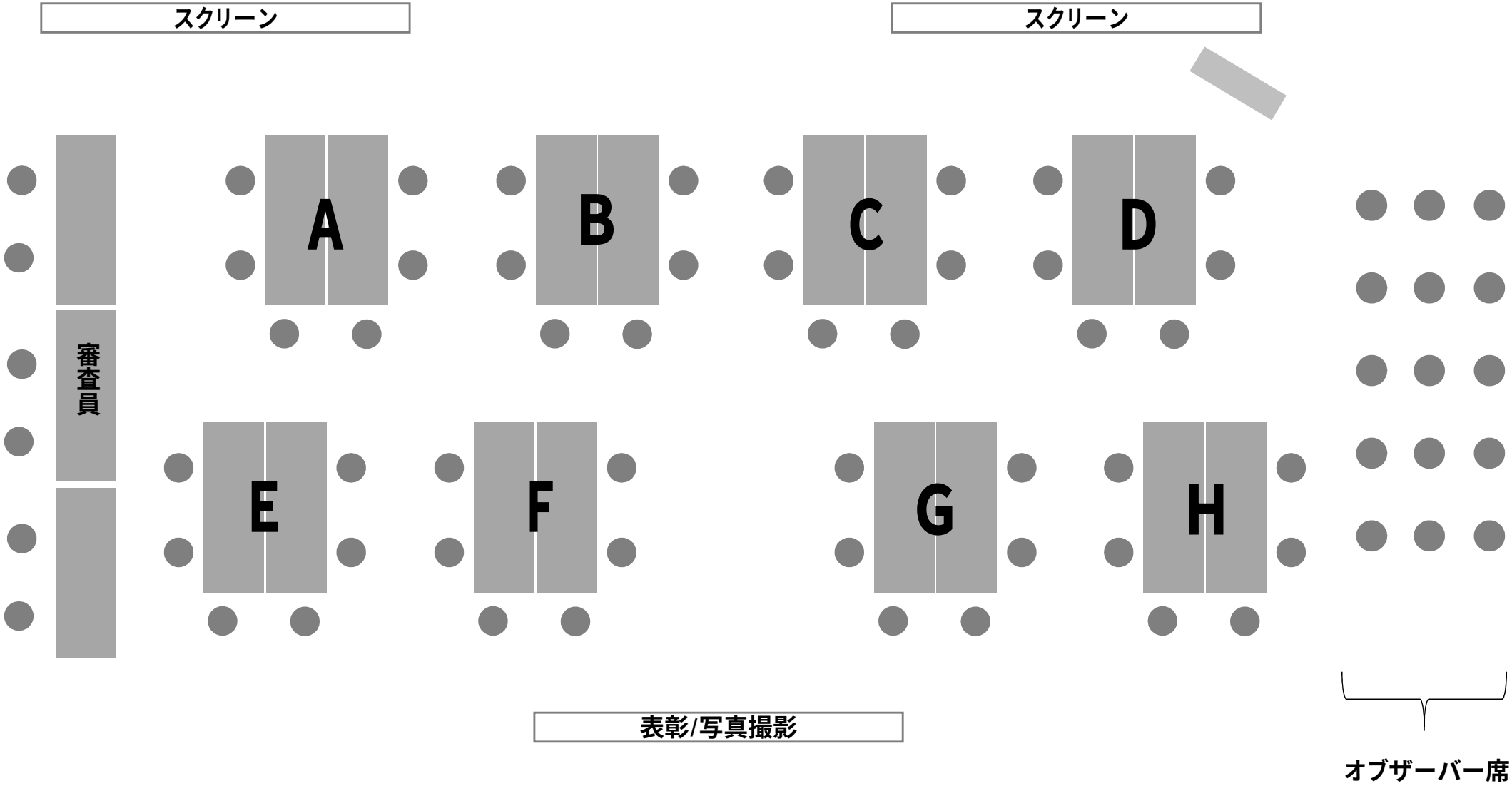
3. 実施環境
ワークショップ：スタジオA (A～Eグループ)



3. 実施環境
ワークショップ：スタジオB (F～Hグループ)



3. 実施環境
発表/表彰：セミナールーム



4. 実施風景

気象衛星ひまわり
平成27年7月7日から、
世界最先端の観測性能を有するひまわり８号の運用を開始！
９号との２機体制で地球大気を観測。
会長賞

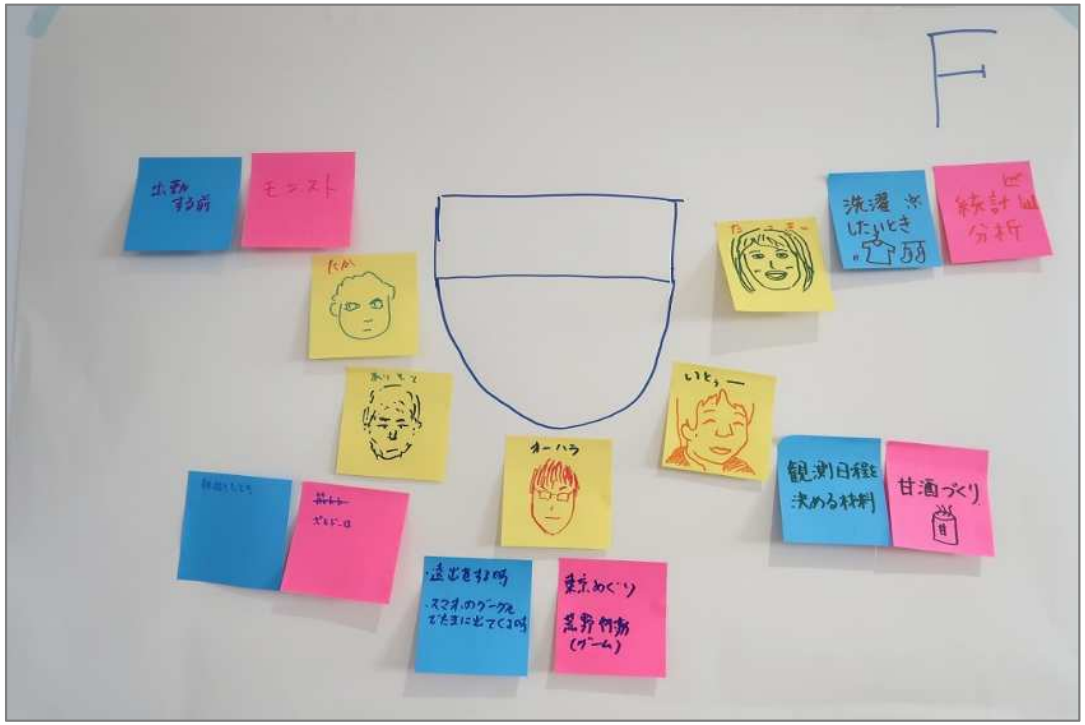
4. 実施風景

4. 実施風景

5. ワークのプロセスと成果
アイスブレイク（チームビルディング/気象予報士様お仕事紹介）

- グループワークで座席表を作りながら自己紹介
  付箋に描いた隣のひとの似顔絵を模造紙に張り出し、座席表を作成
- 「気象データをどんなときにみるか」「はまっていること・勧めたいこと」を模造紙に張り出しながら自己紹介
- 気象予報士さんのお話/フリートーク

＜アウトプットイメージ＞



＜実施風景＞

5. ワークのプロセスと成果

Work①<知識共有>　世の中にどんなお天気データがあるか考えよう

- グループワークでお天気データの洗い出し
  「どんなお天気データをみるか」「いつみるのか」
  「どこで（どこを）みるか」「どうやってみるか」を付箋に書き出し、
  4つの観点別に模造紙へ張り出し

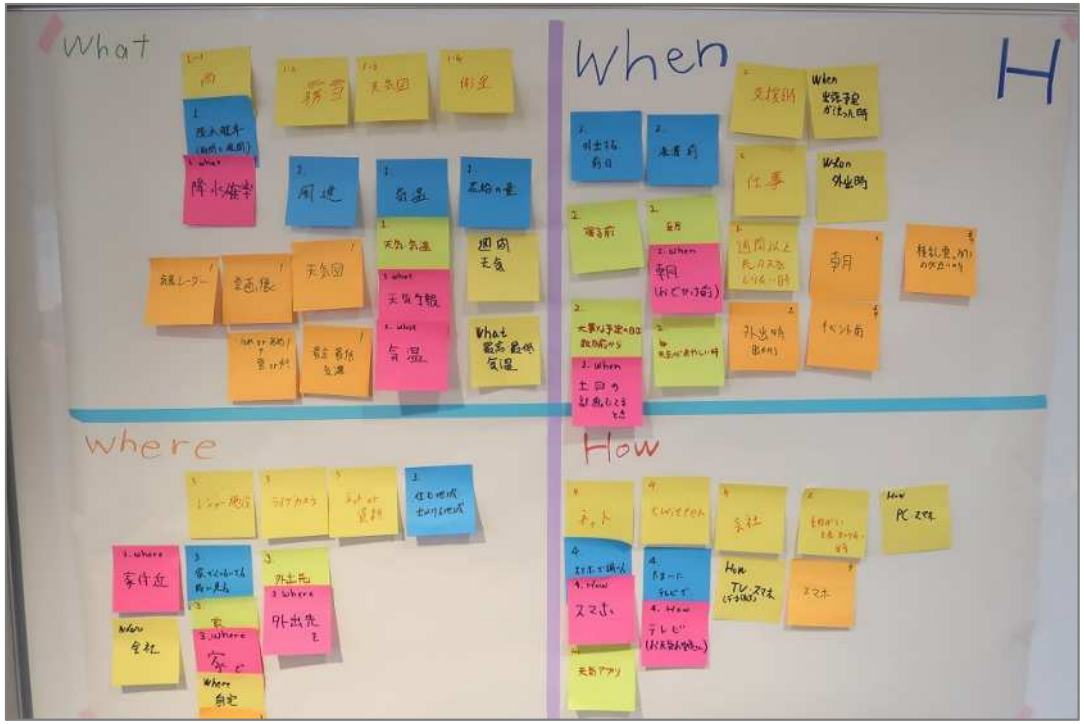
ⓘお天気データ利用シーン例　～生活～

思いついたものは追加してみましょう

洗濯	傘	肌荒れ	料理
うるおい	暖房	お出かけ	のど飴
シミ	洗車	水道凍結	掛け布団
服装	掃除		

※お天気データの利用シーン事例一覧を参考として配布

＜アウトプットイメージ＞



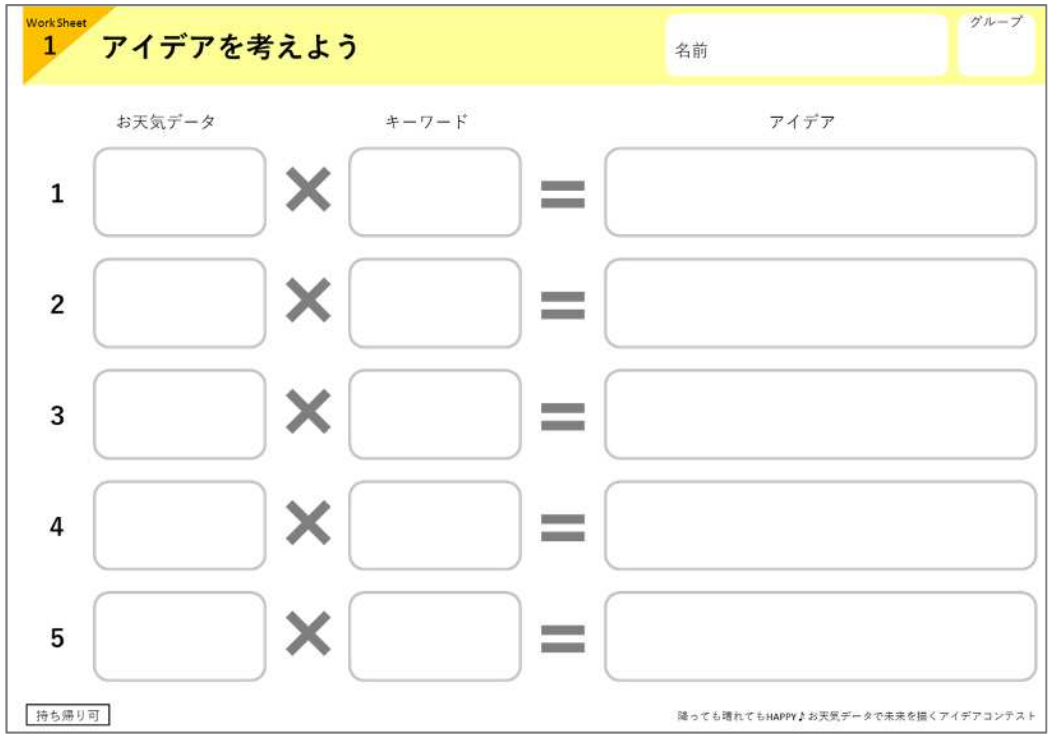
＜実施風景＞

5. ワークのプロセスと成果

Work②　<発想>　キーワードで強制発想してみよう

- グループワークと個人ワークで新アイデアを強制発想
  「お天気キーワードカード」と「トレンドキーワード」の2種類のカードからアイデアを瞬発的に考える強制発想ゲーム
  「お天気データ」と「キーワード」を自由に掛け合わせ、ワークシートにアイデアを発想し、グループで共有

＜アウトプットイメージ＞


Work Sheet 1　アイデアを考えよう

名前　グループ

	お天気データ		キーワード		アイデア
1		×		=	
2		×		=	
3		×		=	
4		×		=	
5		×		=	

持ち帰り可

降っても晴れてもHAPPY♪お天気データで未来を描くアイデアコンテスト

＜実施風景＞

5. ワークのプロセスと成果
WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう

- 個人ワークとグループワークでアイデアの具体化
- 「新規性」「テーマ性」「インパクト」「利用したいか」「発展性」の観点でアイデアをカテゴライズ

＜アウトプットイメージ＞

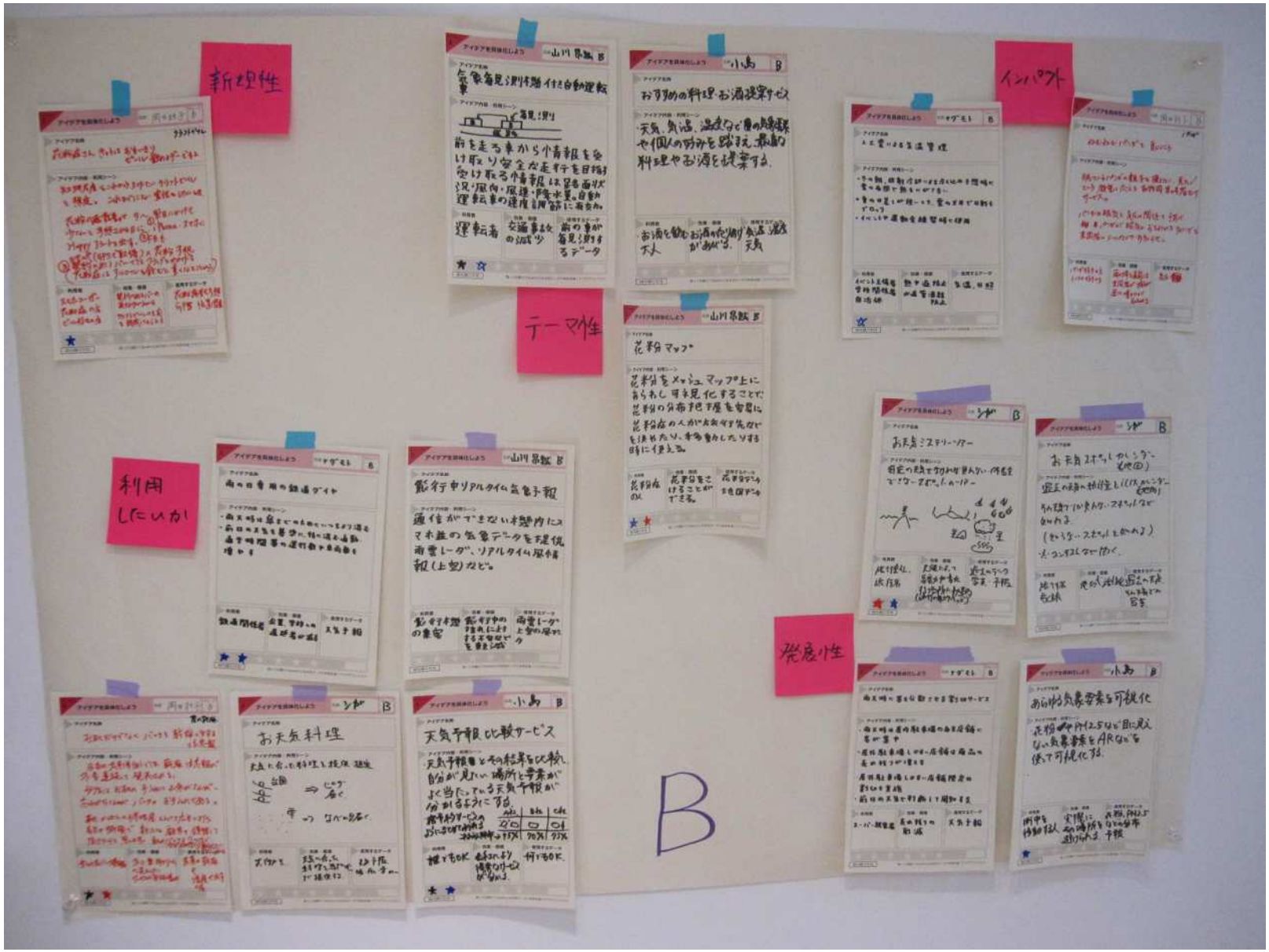
＜実施風景＞

5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Aグループ

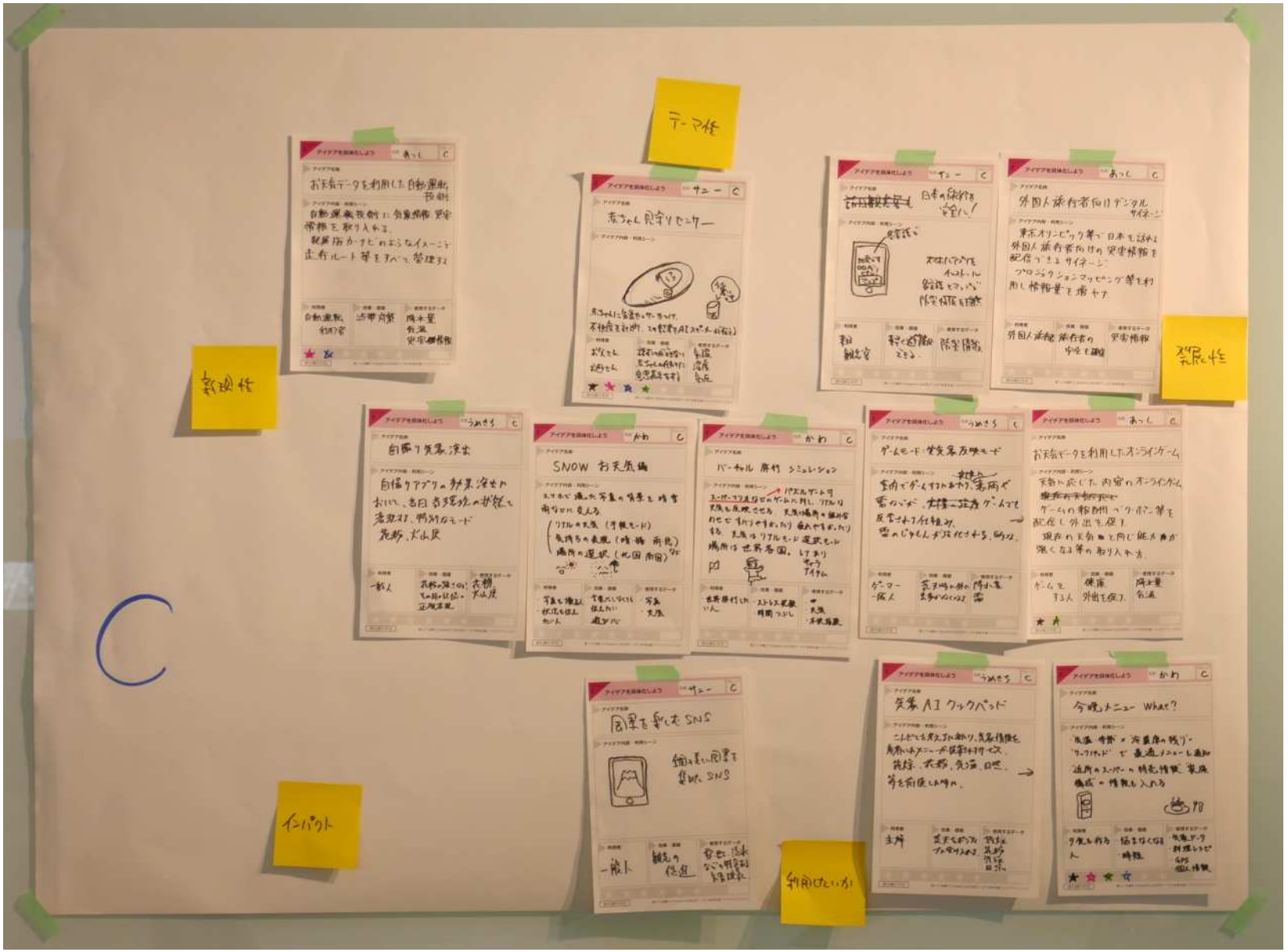
5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Bグループ



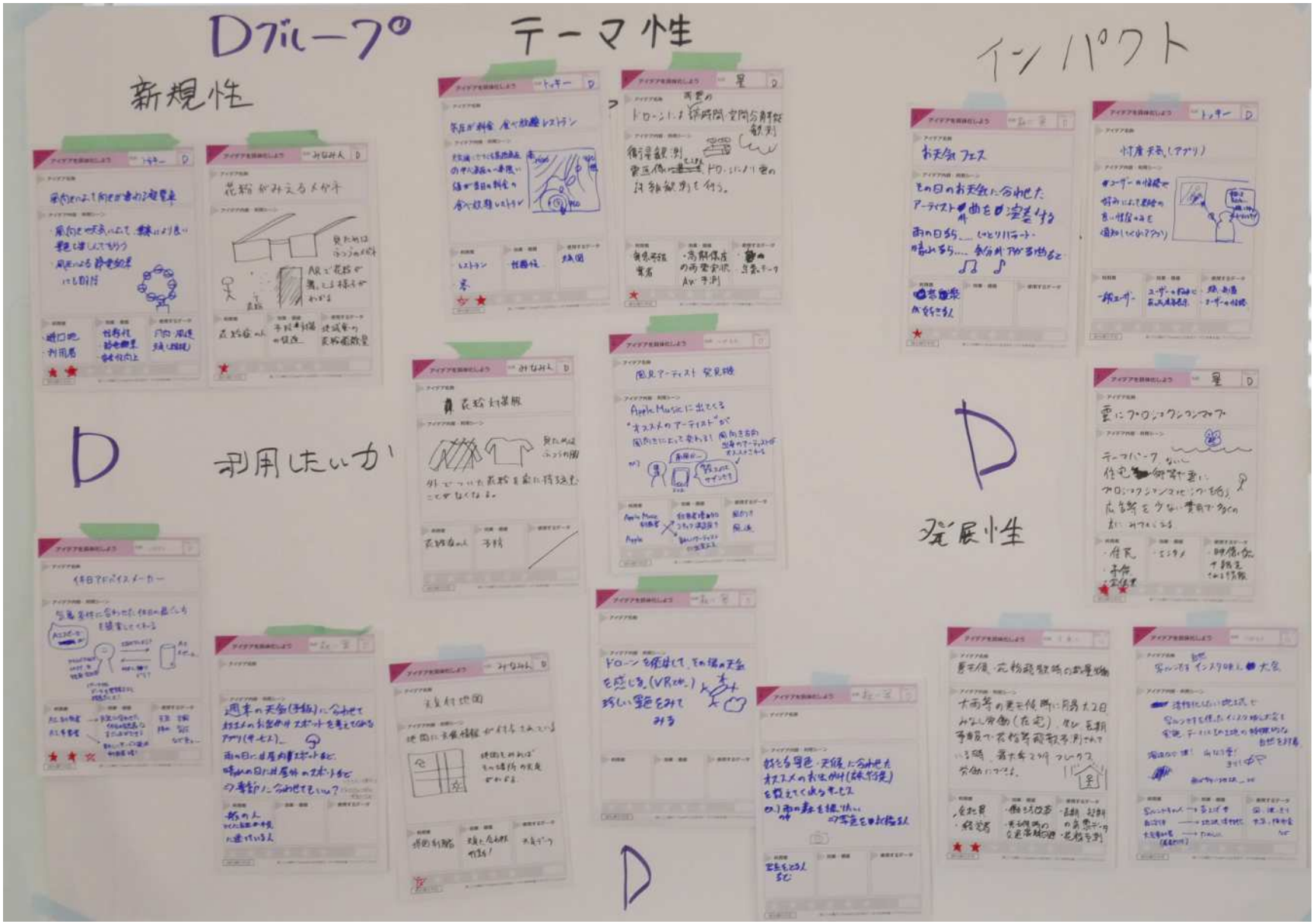
5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Cグループ



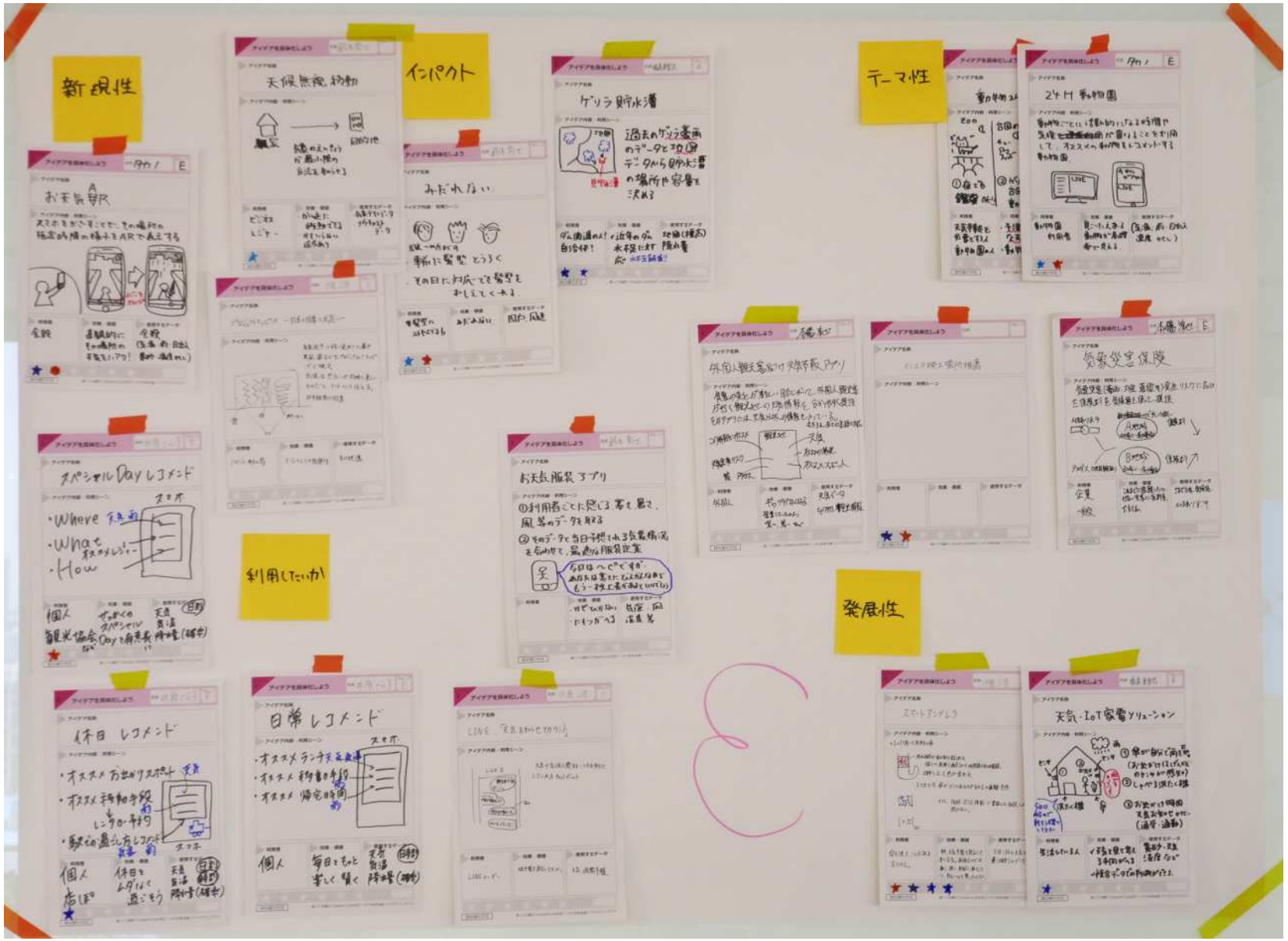
5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Dグループ



5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Eグループ

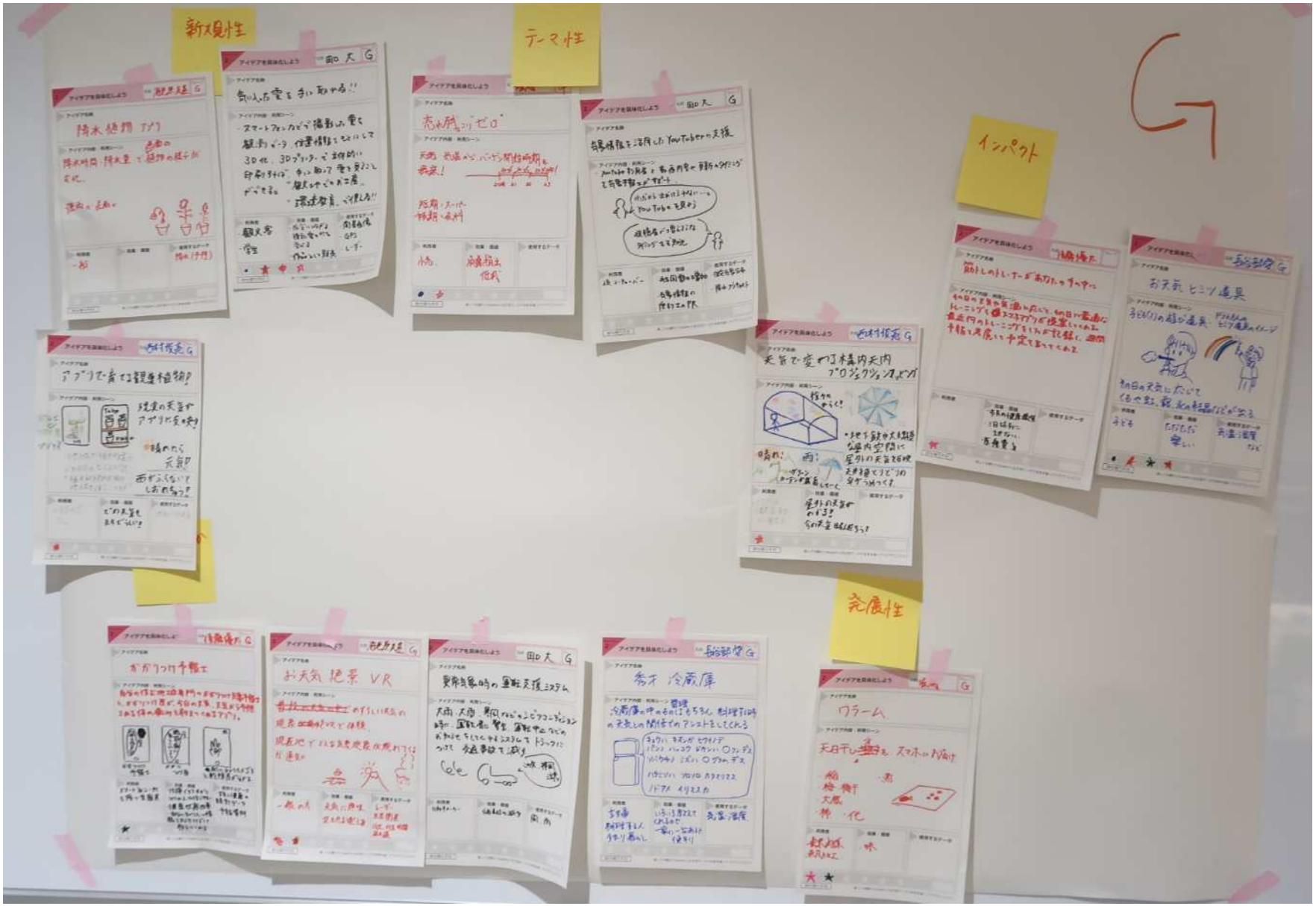


5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Fグループ

5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Gグループ



5. ワークのプロセスと成果

WorK③ <具体化> アイデアを具体化しよう-Hグループ

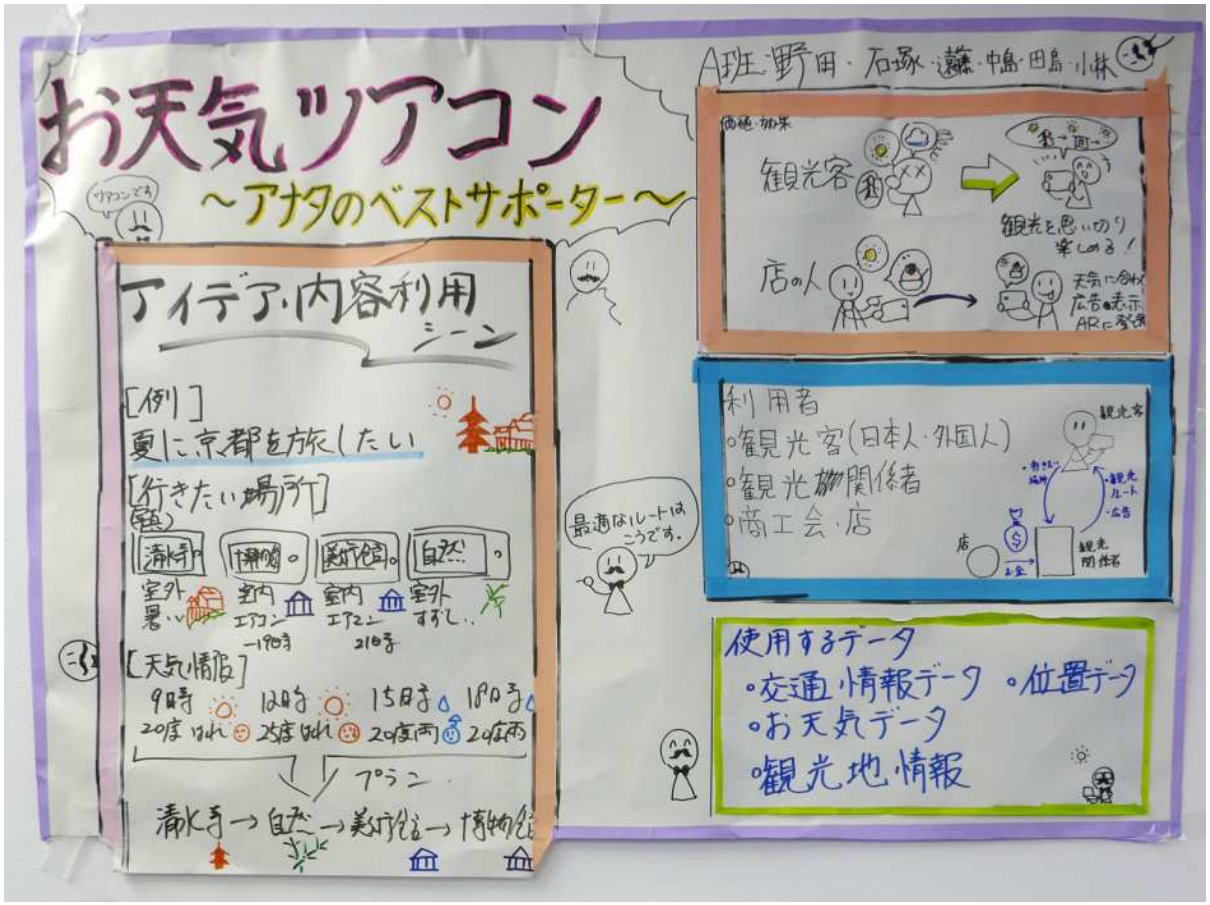
5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表

- グループワークで発表資料を作成
  「アイデアタイトル」「内容・利用シーン」「利用者」「価値・効果」「使用するデータ」「ポイント」の観点で作成
- 1グループ3分間で全体へ発表

＜作成風景＞

＜発表風景＞

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Aグループ

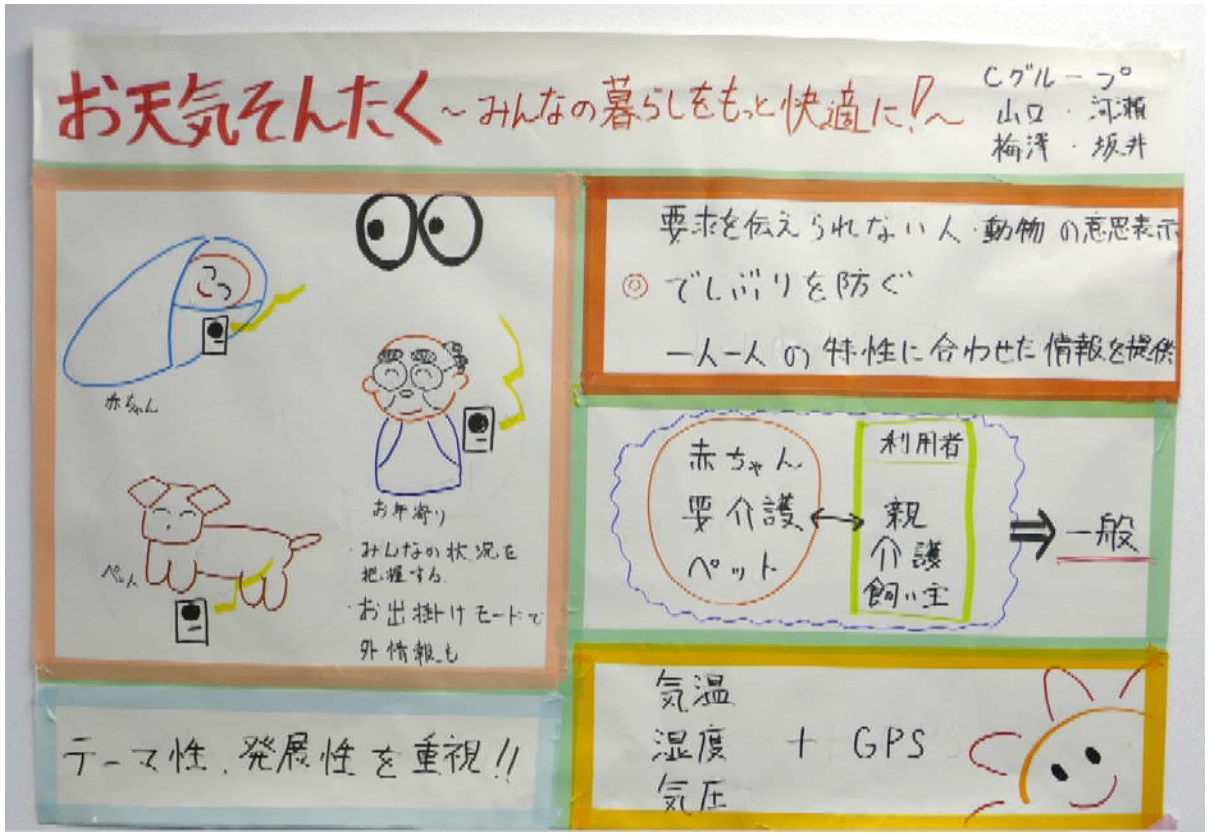


アイディア名称	お天気ツアコン～アナタのベストサポーター～
アイデア内容・利用シーン	・[例] 夏に京都を旅行したい [行きたい場所] 清水寺 博物館 美術館 自然 室外 室内 室内 室外 暑い エアコン エアコン すずしい -19時 21時 [天気情報] 9時 12時 15時 18時 20℃晴れ 25℃晴れ 20℃雨 20℃雨 ↓プラン 清水寺→自然→美術館→博物館
利用者	・観光客（日本人・外国人） ・観光関係者 ・商工会・店
価値・効果	・観光客→観光を思い切り楽しめる！ ・店の人→天気に合わせた広告の表示、ARに登録
使用するデータ	・交通情報データ ・位置データ ・お天気データ ・観光地情報
アイデアのポイント	・未記入

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Bグループ

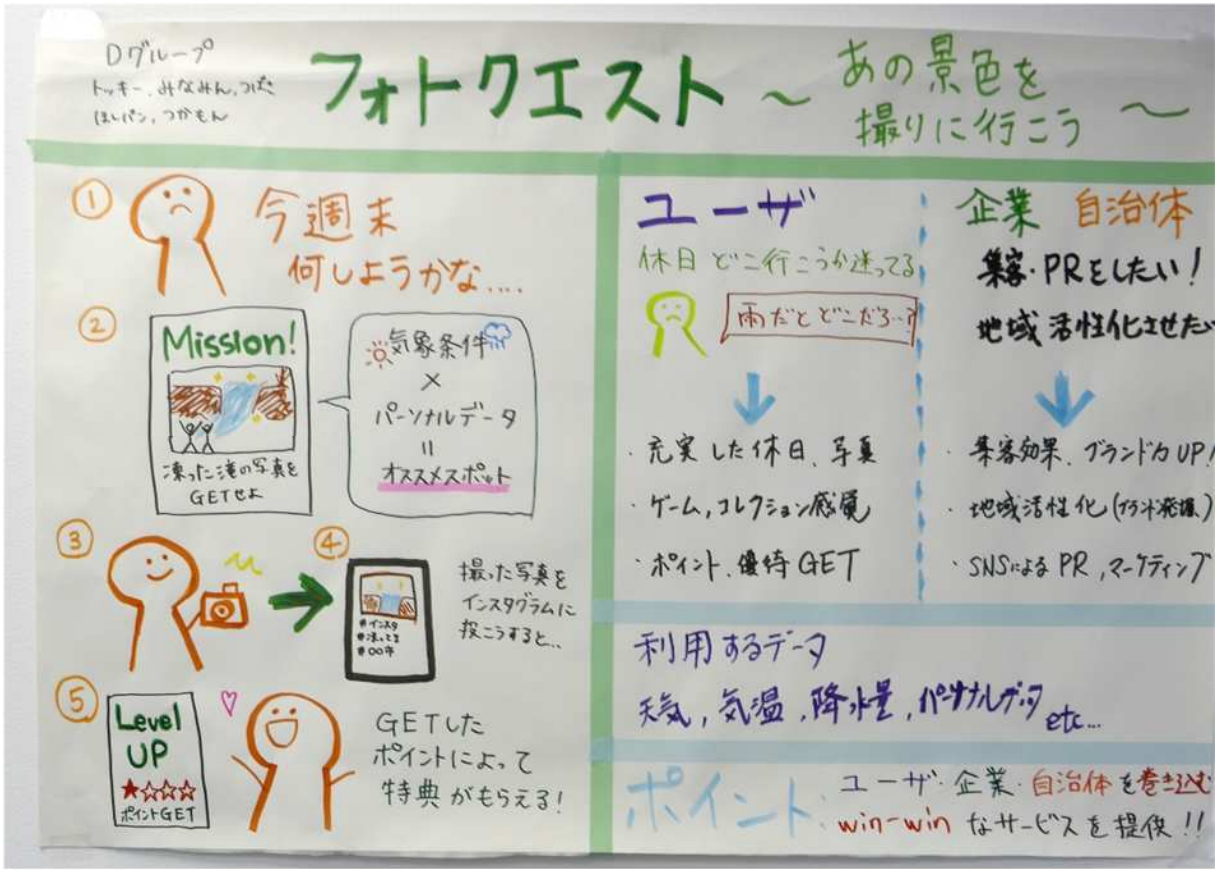
アイディア名称	日本の天気を楽しむ
アイデア内容 ・利用シーン	イラスト
利用者	・旅行者 ・旅行企画者 ・地方
価値・効果	・確率を知って美しい景色を狙う。 ・天気に左右されず顧客を得られる。 ・観光資源がなくても天気をベースに新たな旅行者開拓。
使用するデータ	統計値、気象衛星、レーダー、MSM、ライブカメラ、投稿写真
アイデアのポイント	場所だけでなく天気を楽しむ!! 海外からの旅行者にオススメ!!

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Cグループ



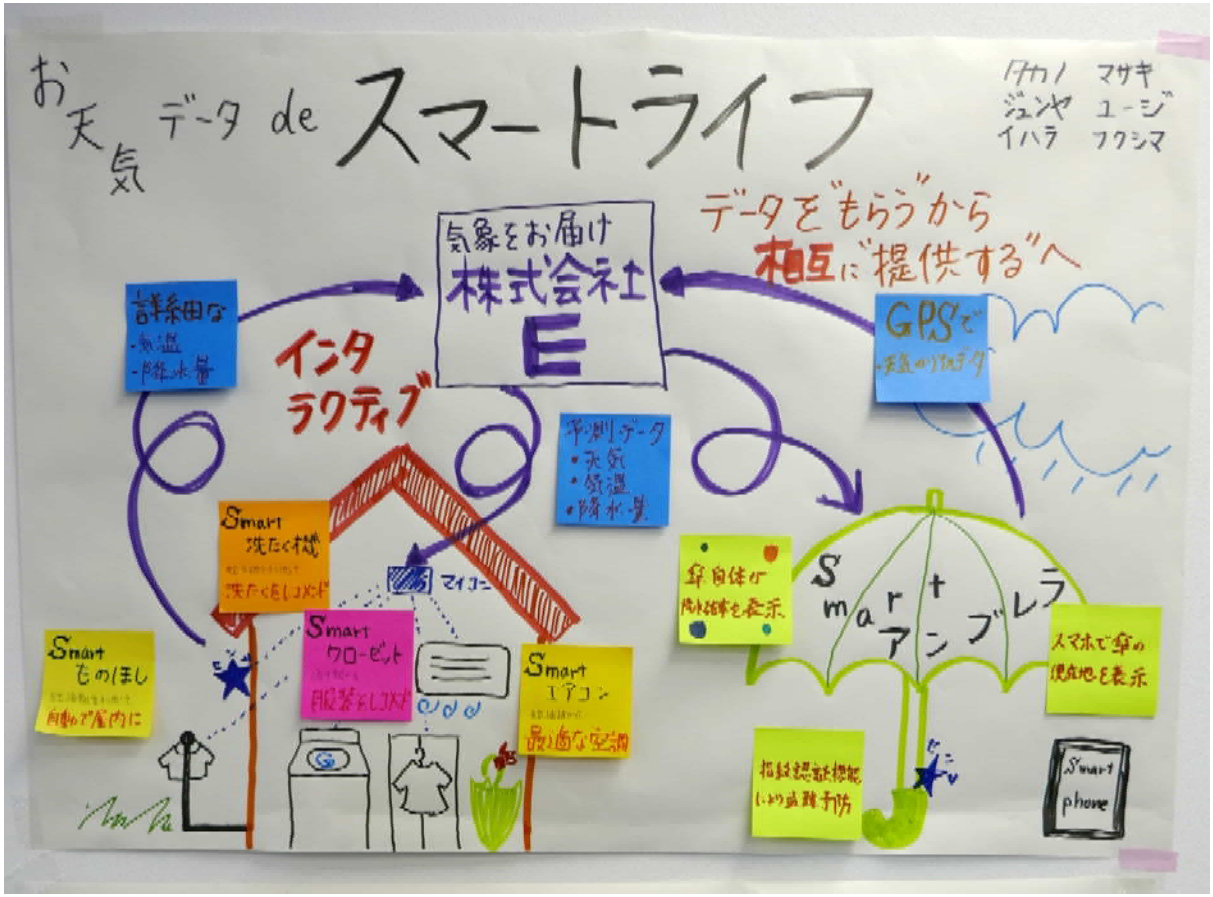
アイディア名称	お天気そんたく ～みんなの暮らしをもっと快適に！～
アイデア内容 ・利用シーン	・みんなの状況を把握する・お出かけモードで外情報も
利用者	・赤ちゃん　親　要介護 ⇔ 介護 →一般　ペット　飼い主
価値・効果	・要求を伝えられない人・動物の意思表示で渋りを防ぐ
使用するデータ	・気温、温度、気圧＋GPS
アイデアのポイント	テーマ性、発展性を重視！！

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Dグループ



アイディア名称	フォトクエスト～あの景色を撮りに行こう～
アイデア内容 ・利用シーン	・①今週末何しようかな… ・②Mission!凍った滝の写真をGETせよ 気象条件×パーソナルデータ＝オススメスポット ・③イラストのみ（写真を撮っている人） ・④#インスタ #凍ってる #○○市 撮った写真をインスタグラムに投稿すると… ・⑤Level UP ポイントGET GETしたポイントによって特典がもらえる！
利用者	・ユーザ 休日どこに行こうか迷ってる 「雨だとどこだろ…？」 ・企業、自治体 集客・PRをしたい！ 地域活性化させたい
価値・効果	・充実した休日、写真 ゲーム、コレクション感覚 ポイント、優待GET ・集客効果、ブランド力UP！ 地域活性化（ブランド発掘） SNSによるPR、マーケティング
使用するデータ	・天気、気温、降水量、パーソナルデータetc…
アイデアのポイント	・ユーザ、企業、自治体を巻き込む ・win-winなサービスを提供！！

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Eグループ

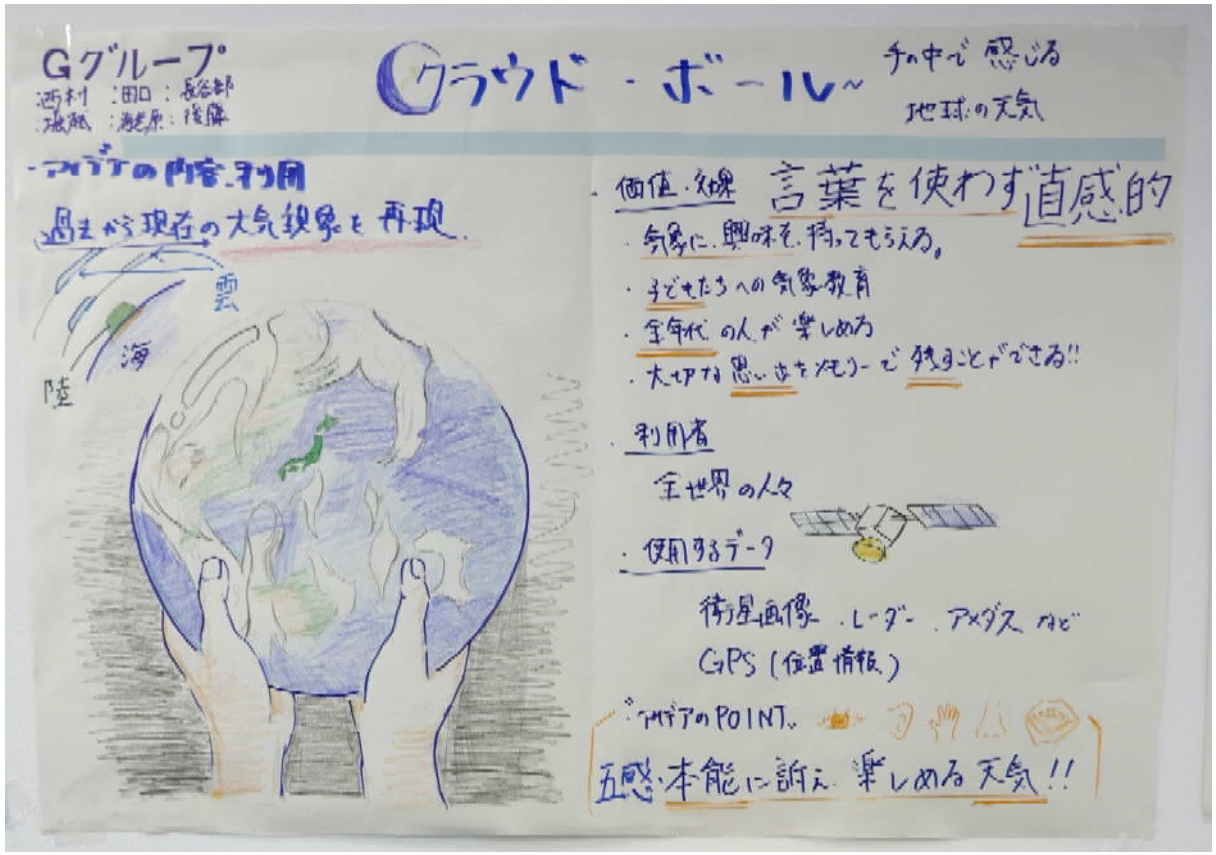


アイディア名称	お天気データdeスマートライフ
アイデア内容 ・利用シーン	・Smartものほし ・Smart洗濯機 ・Smartクローゼット ・Smartエアコン ・Smartアンブレラ
利用者	・個人 ・気象をお届け株式会社E
価値・効果	・天気情報を利用して自動で屋内に ・天気予報を利用して洗濯をリコメンド ・天気予報から服装をレコメンド ・天気予報から最適な空調 ・傘自体が降水確率を表示 スマホで傘の現在地を表示 指紋認証機能により盗難予防
使用するデータ	・詳細な気温、降水量 ・予測データ（天気、気温、降水量） ・GPSで天気のリアルデータ
アイデアのポイント	・データを"もらう"から相互に"提供する"へ ・インタラクティブ

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Fグループ

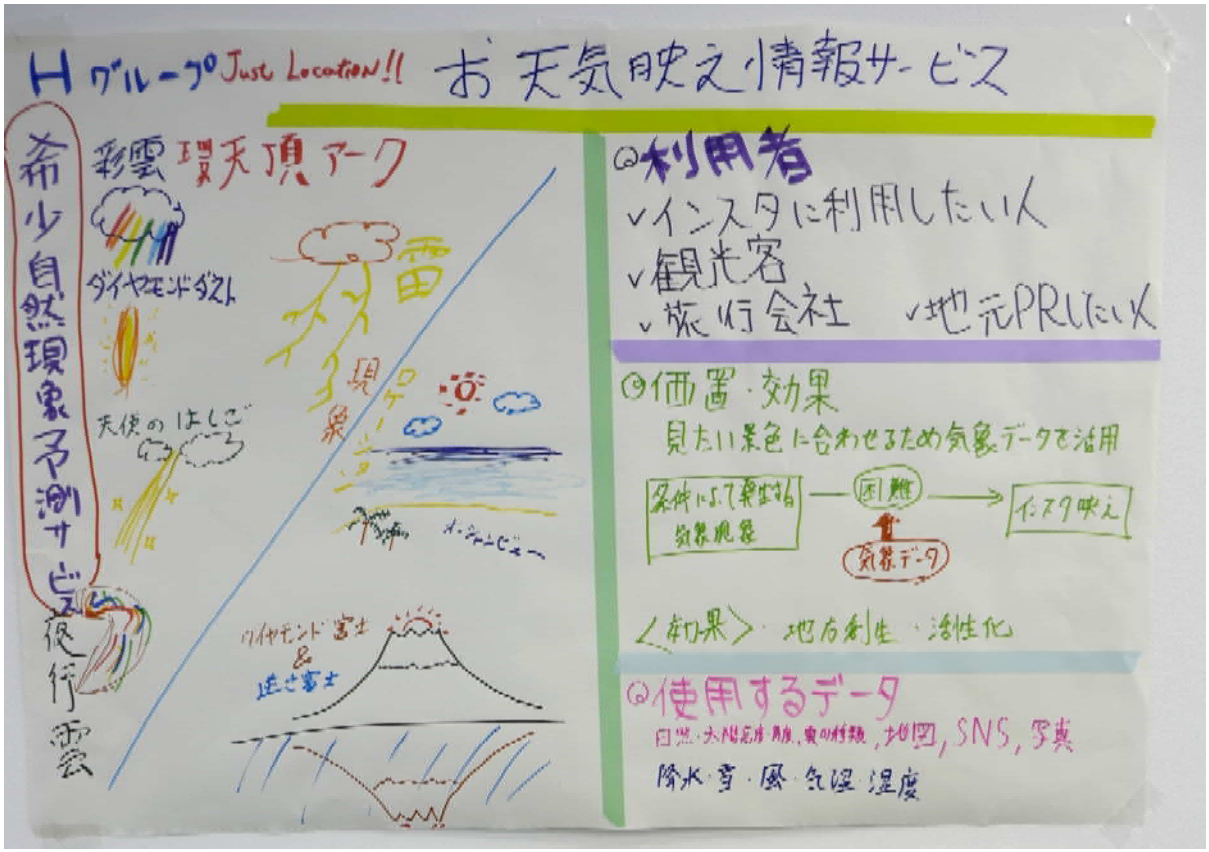
アイディア名称	クラウドリウム～観天望気の力を身に付ける～
アイデア内容 ・利用シーン	・雨、ゲリラ豪雨前
利用者	・子供～大人 ・登山をよくする人
価値・効果	・Before　雨を読めず痛い目に合う… ・After　ゲリラこわくない ・After　山で遭難しない
使用するデータ	・雲、降水量、降水確率、風向、風速、日照、気温、雷
アイデアのポイント	・テーマ性とインパクトを重視しました。

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Gグループ



アイディア名称	クラウド･ボール～手の中で感じる地球の天気～
アイデア内容 ･利用シーン	･過去から現在の大気現象を再現
利用者	･全世界の人々
価値･効果	･言葉を使わず直感的 ･気象に興味を持ってもらえる。 ･全世代の人が楽しめる ･大切な思い出をメモリーで残すことができる！！
使用するデータ	･衛星画像、レーダー、アメダス等 ･GPS（位置情報）
アイデアのポイント	･五感･本能に訴え、楽しめる天気！！

5.ワークのプロセスと成果
発表資料の作成/発表-アイデア-Hグループ

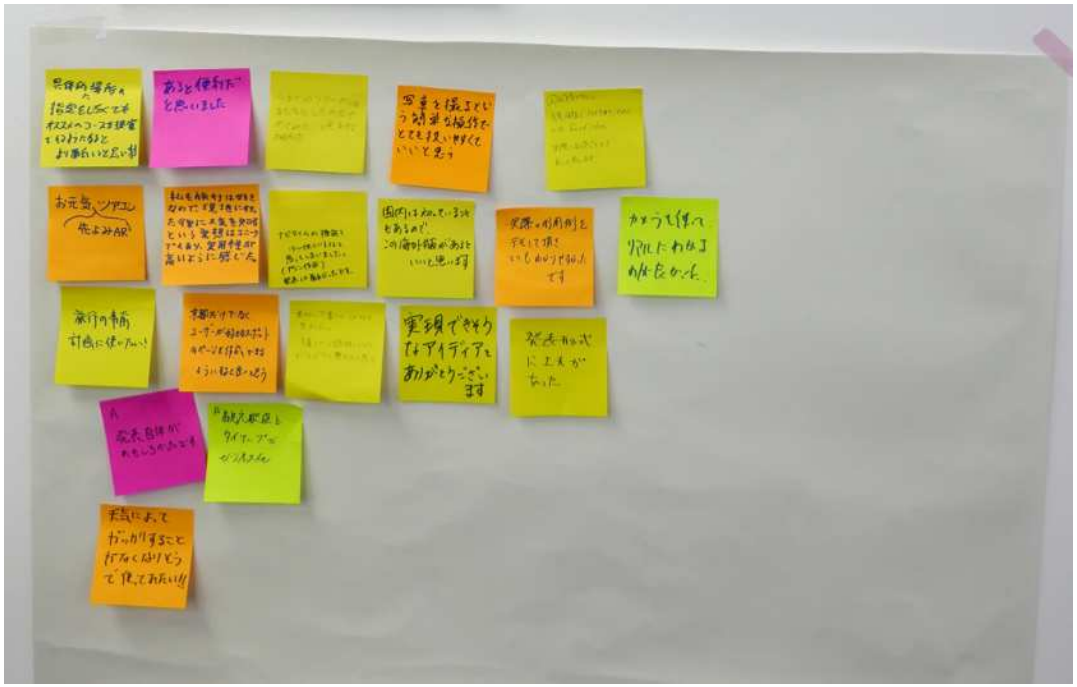


アイディア名称	Just Location‼お天気映え情報サービス
アイデア内容 ・利用シーン	・希少自然現象予測サービス ・彩雲環天頂マーク ・ダイヤモンドダスト ・天使のはしご ・夜行雲 ・雷現象 ・ロケーション ・オーシャンビュー ・ダイヤモンド富士＆逆さ富士
利用者	・インスタに利用したい人 ・観光客 ・旅行会社 ・地元PRしたい人
価値・効果	・見たい景色に合わせるため気象データを活用 ・条件によって発生する気象現象 困難←気象データ ↓ インスタ映え ・地方創生・活性化
使用するデータ	・日照、太陽高度・角度、雲の種類、地図、SNS、写真 ・降水・雪・風・気温・湿度
アイデアのポイント	・未記入

5.ワークのプロセスと成果
リフレクション①　フィードバック

- 個人ワークで他グループへのフィードバックコメントを書く
  「よかった点」「改善ポイント」など、他のグループのアイデアに対して付箋にコメントを書く

＜アウトプットイメージ＞

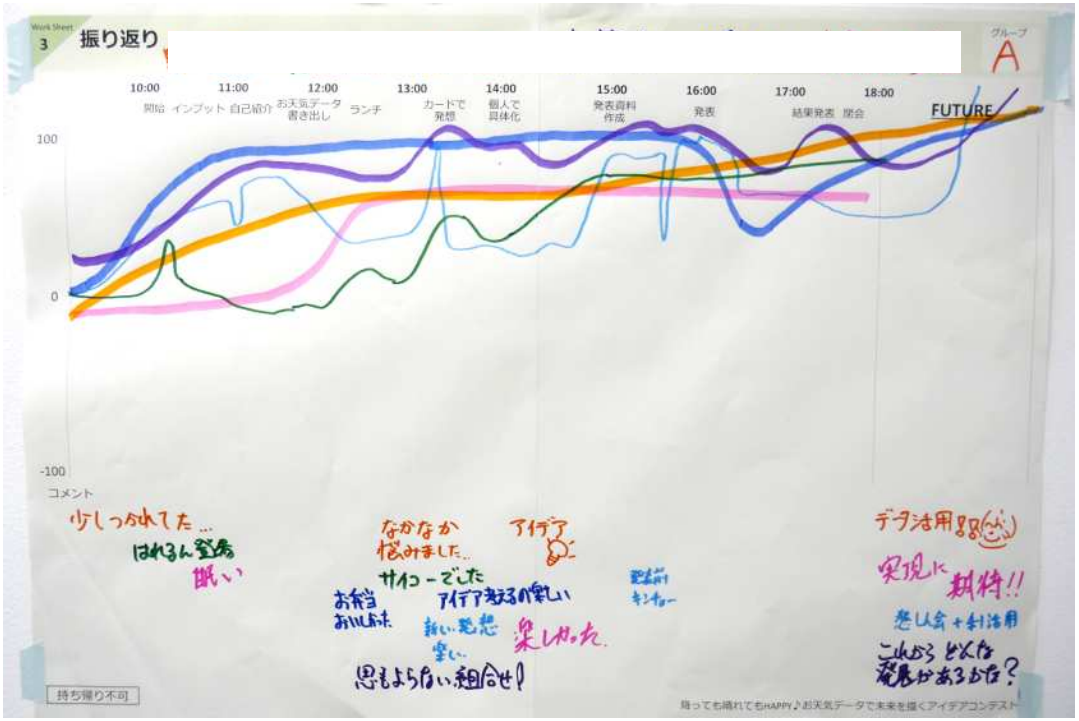


＜実施風景＞

5.ワークのプロセスと成果
リフレクション②　テンショングラフ

- グループワークで1日の振り返りと、今後の展望ついて考える
  一日のテンションの変化を、グラフで表現。今後については予想で記入。
  なぜテンションが変化したのか、今後どうしていきたいかなどをコメントで記入。

＜アウトプットイメージ＞



＜実施風景＞

5.ワークのプロセスと成果
審査-審査基準

テーマ性	目的やコンセプトがはっきりしているか
利用したいか	自分が使ってみたいと思うか
発展性	より洗練されたサービスになる伸びしろがあるか
新規性	まだ活用されていない、似たものがないか
インパクト	ひきつけられる面白さ、奇抜さ、華やかさがあるか

※賞は審査員による審査とオブザーバーの投票により決定

5.ワークのプロセスと成果
審査-審査員

吉本 豊 氏
(経済産業省
商務情報政策局
商務情報政策統括
調整官)

田原 春美 氏
(先端IT活用推進
コンソーシアム
副会長、
WXBC 人材育成
WG座長)

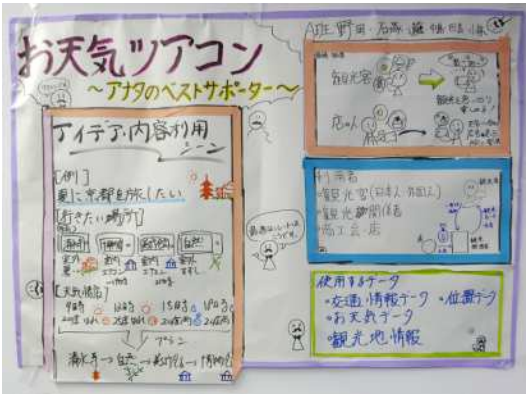
村上 文洋 氏
(審査員長、
(株) 三菱総合研究所
主席研究員、
WXBC 新規気象
ビジネス創出WG座長)

南 利幸 氏
(気象予報士、
(株) 南 気象予報士
事務所)

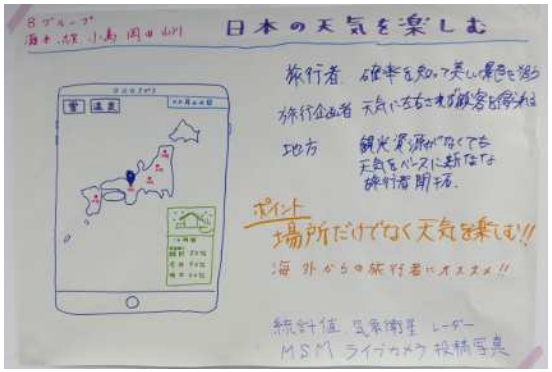
木村 達也
(気象庁 総務部
情報利用推進課長)

6.アイデアの概要と一覧
発表アイデア一覧

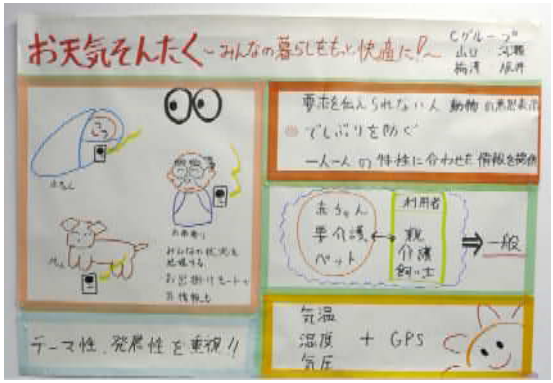
Aグループ
お天気ツアコン
～アナタのベストサポーター～



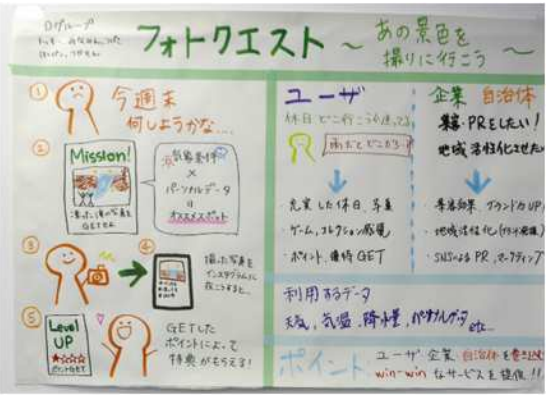
Bグループ
日本の天気を楽しむ



Cグループ
お天気そんたく
～みんなの暮らしをもっと快適に！～



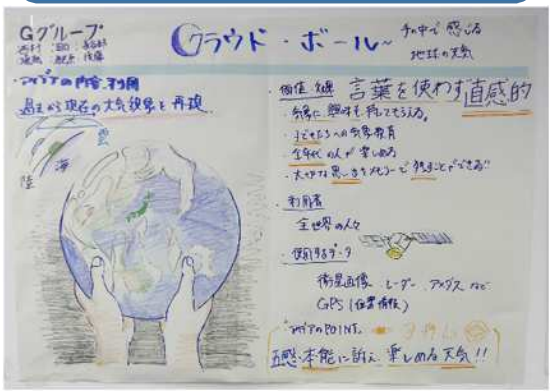
Dグループ
フォトクエスト
～あの景色を撮りに行こう～



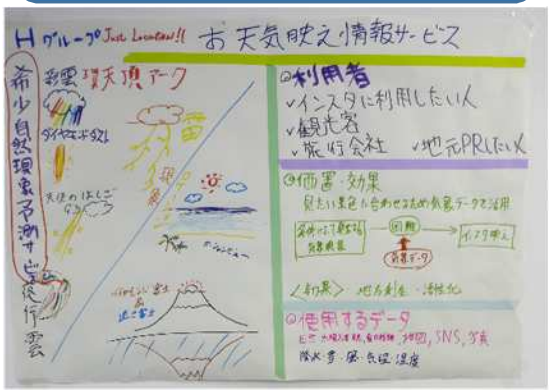
Eグループ
お天気データdeスマートライフ

Fグループ
クラウドリウム
～観天望気の力を身に付ける～

Gグループ
クラウド・ボール
～手の中で感じる地球の天気～



Hグループ
Just Location!!
お天気映え情報サービス



7.コンテスト審査結果
表彰結果

★ WXBC会長賞

G

クラウド・ボール
～手の中で感じる地球の天気～

★ 気象庁特別賞

E

お天気データde
スマートライフ

★ モンキーポッド賞（日立賞）

H

Just Location!!
お天気映え情報サービス

★ ハレックス賞

A

お天気ツアコン
～アナタのベストサポーター～

★ リアルワールドゲームス賞

D

フォトクエスト
～あの景色を撮りに行こう～

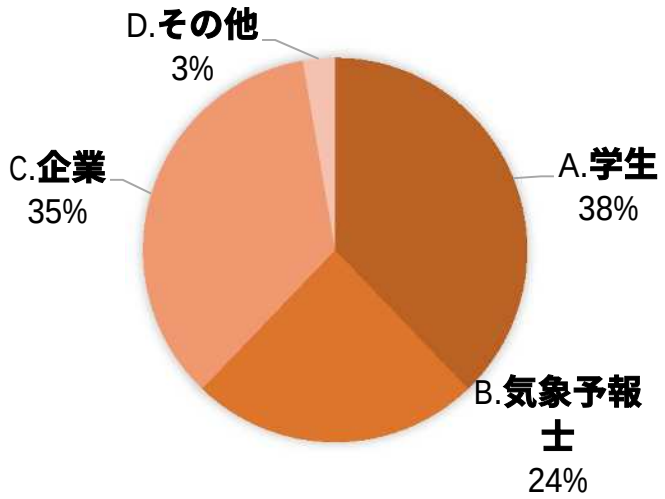
7.コンテスト審査結果
賞品

★ WXBC会長賞	WXBCロゴ入り写真立 ロケットブック　他	
★ 気象庁特別賞	誕生日の衛星画像or天気図 はれるん彫刻入りUSBメモリ　他	
★ モンキーポッド賞 (日立賞)	エコバック スリムサーモステンレスボトル	
★ ハレックス賞	Halexトートバッグ Halexボールペン	
★ リアルワールド ゲームス賞	リアルワールドゲームス トークン1,000枚＆特製記念メダル	

8. アンケート集計結果

1. 参加者情報をお聞かせください。

A.学生　：　14名
B.気象予報士　：　9名
C.企業　：　13名
D.その他　：　1名



※企業枠で気象予報士の方1名→「気象予報士」にて集計

8. アンケート集計結果

2.本日のアイデアコンテストの参加目的をお聞かせください。

■ 学生

- 大学の職員から行って欲しいと頼まれた。
- 今日のアイデアコンテストを通して、地元愛媛の地域活性化に関してアイデアをいただこうと参加いたしました。
- 気象とビジネスについて興味があり、今までできないような体験ができると思い参加させていただきました。
- 富士通社員の方にご紹介いただきました。
- 官庁が企画したコンテストに興味があり、勉強の目的で参加した。
- 今後の研究活動、就職を見すえ、多くの人のアイディアを取り入れたいと思い、参加しました。
- お天気データについて、少し違った見方をしてみたかった。
- 気象の学習。
- どんなアイディアが出るか楽しさ。地上30階に来てみたかった。
- 貴重な経験になると考えたから。
- 気象データの利活用は、すでにとても重要な課題になっていると感じていたので、多くのアイデアを生み出したいと思ったので。
- 人にさそわれた。
- 気象会社さん、気象予報士さんが集まる機会はなかなか学生ではないので、交流をしたい。＋他の人のビジネスアイデアを聞きたかった。
- 自分のアイディアのみなさんの反応と幅広いアイディアにふれたかったため。

8. アンケート集計結果

■ 気象予報士

- 今の仕事に活かす為。
- 気象予報士と本業のアイデアとこの企画にぶつけてみたかった。
- 気象予報士としての責務。
- 気象業界の方達とは別の視点で出されるアイディアに刺激をいただきたいと思ったから。
- みなさまのアイディアを吸収したかったため。
- 気象ビジネスのアイデアを増やしたい。参考にしたい。
- 一般の方（コンシューマ）が気象情報をつかった何を求めているか知りたかった。
- 新規ビジネスのアイデアを出す力をつけたかった。
- 新事業のアイデアに好ヒントを得るため。

■ 企業

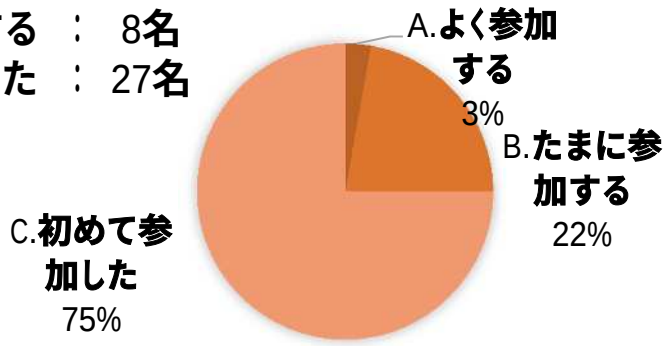
- いろいろな方の意見や考え方から、 シゲキを受けるため。
- 気象データ利活用のアイディアを得たい。気象予報士や関わっている人々と交流したい。
- 気象への知見を深めるため。
- 普段の業務とは異なる雰囲気やアイデアの切り口を考えたい。柔軟な発想をしてみたい。
- 気象関係者の方々と接点を持ちたかった。
- 様々な人と気象について議論し、交換するため。
- 気象サービスの発掘。
- 気象データのこれからの利活用を学び、自らの事業の参考にすること。また、官公庁主催のアイデアコンテストに参加することそのものも目的。
- 気象情報の利活用に興味があったため。
- 気象情報データを利用した新しいビジネスチャンスの発見。
- 新しい活用イメージを勉強する為。

8. アンケート集計結果

3.アイデアコンテストへの参加経験についてお聞かせください。

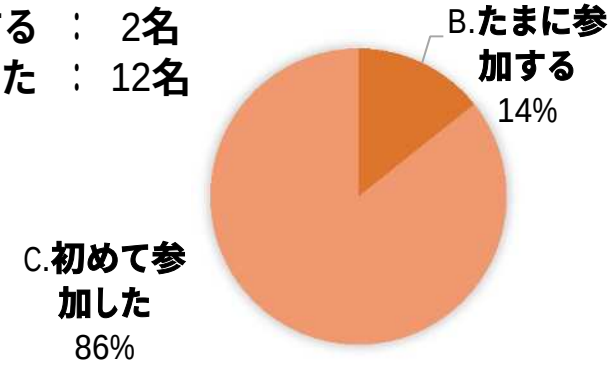
■ 全体

A.よく参加する　：　1名
B.たまに参加する　：　8名
C.初めて参加した　：　27名



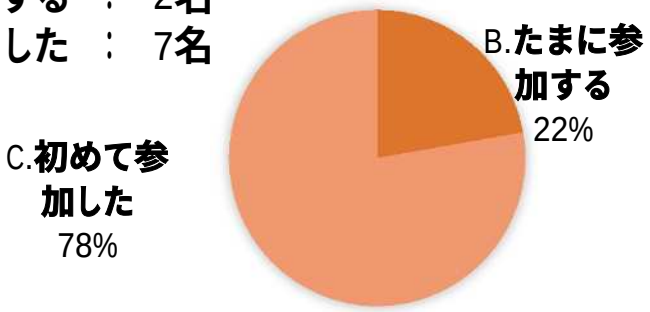
■ 学生

A.よく参加する　：　0名
B.たまに参加する　：　2名
C.初めて参加した　：　12名



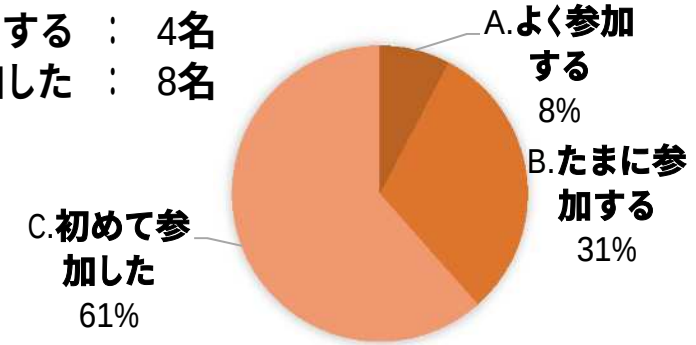
■ 気象予報士

A.よく参加する　：　0名
B.たまに参加する　：　2名
C.初めて参加した　：　7名



■ 企業

A.よく参加する　：　1名
B.たまに参加する　：　4名
C.初めて参加した　：　8名

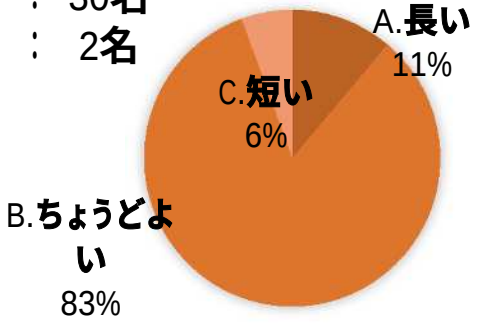


8. アンケート集計結果

4.本日のアイデアコンテストの時間についてご意見をお聞かせください。

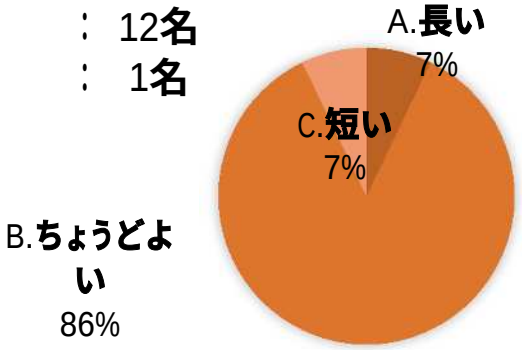
■ 全体

A.長い　：　4名
B.ちょうどよい　：　30名
C.短い　：　2名



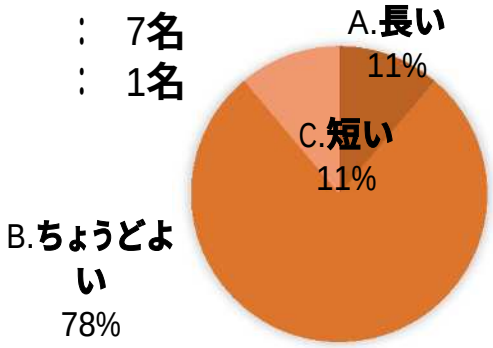
■ 学生

A.長い　：　1名
B.ちょうどよい　：　12名
C.短い　：　1名



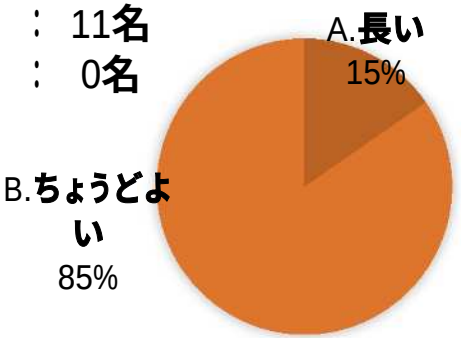
■ 気象予報士

A.長い　：　1名
B.ちょうどよい　：　7名
C.短い　：　1名



■ 企業

A.長い　：　2名
B.ちょうどよい　：　11名
C.短い　：　0名



8. アンケート集計結果

5.普段のお天気情報の利活用度をお聞かせください。（頻度/利活用している情報など）

■ 学生

- ほとんどない。
- 毎日。（Yahoo天気など）
- ほぼ毎日、朝に服装や傘の有無を確認するために見ています。
- 1日1回天気・気温。
- スマホのグーグルでしか見ていない。
- アメダス→学校で週に3～5回。週間予報→気になる日の前。天気図→学校で週に2～3回。
- 毎日。（降水量・気温・積雪量）
- 毎日。Yahoo!天気（雨雲Rader）
- 外出時、帰宅時など、週数回。気象庁HP→気象レーダー、アメダス。
- 毎朝見ている。
- 日々のテレビの天気予報などを毎日。
- 毎日アプリでみています。
- 私生活ではあまり天気予報は使わないが、研究などで多く利用しています。
- 半日～数時間に1度天気予報および気象データ活用。

8. アンケート集計結果

■ 気象予報士

- 提供する側なのですが、個人的に毎日役立てています。
- 毎日必ず気象情報を確認しています。特に見ているのはMSMの数値予報資料。
- しょっちゅう。
- 毎日活用している。
- 毎日／天気情報全般。
- 朝、1日の天気を確認する。
- 気温と雨の情報を毎日。
- 民間気象事業者です。

■ 企業

- 生活気象としては利用している。災害時は業務で利用。
- ほぼ毎日。
- 晴れ・雨（毎日）／台風・雪（その都度）
- スマホのお天気情報。Yahoo!情報。
- 5～6回/日くらい、かと思います。
- 頻度：毎日1回は見ている。
- 毎日／その日の天気（カサがいるかどうかの判断）
- 毎朝。天気予報。
- 仕事で少し活用している程度。
- 毎日
- 出張時は特に気を付けて見てます。

8. アンケート集計結果

6.本日のアイデアコンテスト参加をきっかけに、今後、お天気情報を利活用したいと思われますか？

■ 学生

- 使用しようと思う。
- 大学内（地域づくり）事業（働産分野）にて、今日学んだことを生かしていければと考えています。気象×？と考え何かおもしろいビジネスプランを構築したいと考えます。
- お天気情報と店舗の売上の関係から、売上を予想。
- 活用したい。出かけた際や洗濯する際に。観光時にも天気情報だけでなく、天気の特性を活かしたプランがほしい。
- 雨に関する情報を活用したい。
- 日常生活、旅行、体調管理にお天気情報を活用しつつ、活用のすそのを広げていきたい。
- 旅行のシーンで特に活用したいと思った。
- はい。
- もっと広く天気を利活用するとしたら、バーチャルばかりでなくリアルな体験に結びつけることが大事なのかと思った。
- 風や雲の動きが気になった。
- 思います。自分たちの出したアイデアが実現したらいいなと思いますし、気象情報の利活用によって経済がより発展するといいと思います、気象情報に触れる機会が増えることで、多くの人が気象に興味をもってほしい。
- 今ある天気活用アプリを使いたいと思いました。
- お天気をさらに楽しみたくなりました。

8. アンケート集計結果

■ 気象予報士

- 新しい活用方法を更に検索していきたいと思っています。
- 利活用したいです。発表にはできないが、メンバーの中からの意見をもとに今後もアイデアを出していきたい。
- ビジネスシーンへの活用。
- アイデアを今後の参考にしたい。
- 逆に利活用したい情報を教えていただきたい。
- 傘や地球儀のアイデアがおもしろかったので、そういうものを考え出したり利用したい。
- 利活用がもっと広がる可能性を感じました。

■ 企業

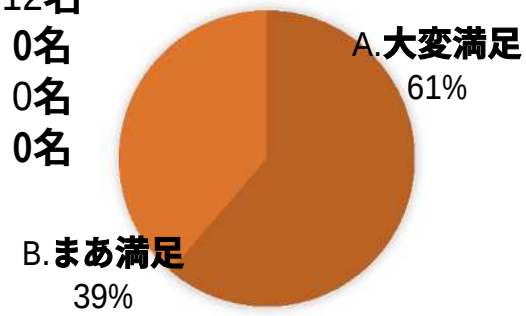
- したい。
- 花粉症を気象データを活用して克服したい。
- 業務で機会があれば使用してみたい。
- 『ひまわり・こまわりサービス』を考えたい。ひまわり→大規模なものを日常の生活/事業にも使えるようにしたい。
- 旅行や医療のシーンで利用したい。
- 近年、天候が不安定なので普段の天気だけでなく様々な指標等用い、総合的に判断したいと思いました。
- 気象現象を体験するようなサービスは今後面白いと思います。

8. アンケート集計結果

7.本日のアイデアコンテストの満足度とその理由をお聞かせください。（満足度）

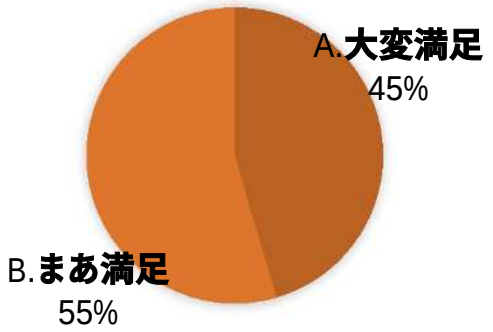
■ 全体

A.大変満足　：19名
B.まあ満足　：12名
C:どちらともいえない：0名
D:少し不満　：0名
E:大変不満　：0名



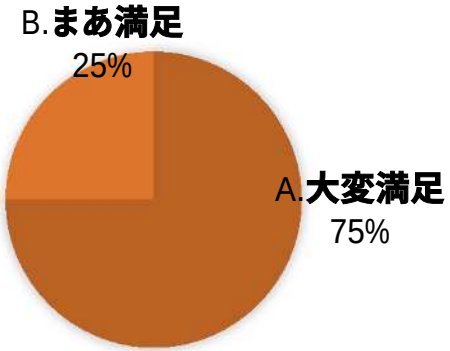
■ 学生

A.大変満足　：5名
B.まあ満足　：6名
C:どちらともいえない：0名
D:少し不満　：0名
E:大変不満　：0名



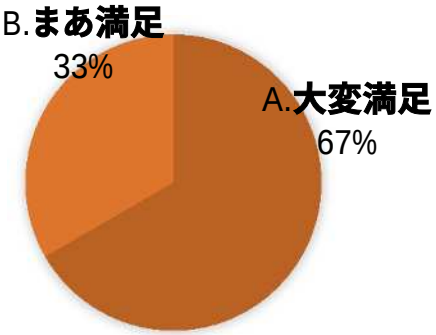
■ 気象予報士

A.大変満足　：6名
B.まあ満足　：2名
C:どちらともいえない：0名
D:少し不満　：0名
E:大変不満　：0名



■ 企業

A.大変満足　：8名
B.まあ満足　：4名
C:どちらともいえない：0名
D:少し不満　：0名
E:大変不満　：0名



8. アンケート集計結果

7.本日のアイデアコンテストの満足度とその理由をお聞かせください。（自由記述）

■ 学生

- 様々な分野の方と活動できたことで、私自身の視野が広がっただけではなく、新たな知見を得ることが出来ました。
- 様々な企業の方と一緒にチームになって自分では思いつかないようなアイデアがどんどん広がっていって楽しかった。
- しっかりとした計画のもとに進められたので、勉強としてしっかり学習できたのでよかった。
- お天気データについて違う視点で考えることができた。
- 円滑な運営。はれるん登場。
- 自分のアイディアだけでなく、チームの人とのアイディアと組み合わさってよりよいアイディアが提案されていくのはおもしろかった。
- とても楽しく、刺激的な日でした。
- アイデアを出す大変さも体験しましたし、アイデアがまとまったときの達成感も味わえたから。
- 普段お話することのない方々とお話できた。
- 自分の好きな天気を語り合う場はあまりないので大変良かった。一歩先へいく企業さんの生の声やアイデアを聞けたので、まだまだ可能性があるのだなと感じた。
- 全体のまとめをまとめるのに大変だった。

8. アンケート集計結果

■ 気象予報士

- 楽しかったです。普段、交流しない方々との話、とても刺激になりました。
- 学生さん、他の企業の方と同じ席で意見交換できたから。
- 自分たちのアイデア是非実現したい。
- みなさまの気象データへの期待度の大きさと斬新なアイディアとその具現化力の高さに感動しました。
- 参加してとてもよかったと思いました。アイデアを多く出すようにしている企画が良かったです。
- ランチもともにしているので、アイスブレイク的な時間はもう少し短く、最終案についての時間を増やしてほしい。
- 気象というキーワードでアイデアを出し合うのがよかった。
- 学生の発想の豊かさに刺激を受けました。

■ 企業

- 参加の目的は達せられました。
- 様々なバックグラウンドの方々と意見交換できた。
- なかなか体験した事ないので、楽しかった。リアルなシステムにもう少し落とし込みたい。
- 他グループの方、また同グループの方の新鮮な発想を知ることができました。
- いろんな背景の方々とワイワイできて楽しかった。思いもよらない組み合わせも感じられた。
- 様々な背景を持つ参加者が集まり、おだやかな雰囲気の中で自由に意見交換ができ、非常に楽しく参考になる議論ができた。
- 今まで考えられなかった新しい見かたを発見できました。

8. アンケート集計結果

7.本日のアイデアコンテストの満足度とその理由をお聞かせください。（自由記述）

■ 学生

- お疲れ様でした。
- 気象からアイデアをふくらませながら、いろいろなビジネスプランを提案することが出来ました。チームにも様々な分野の専門の方がいらっしゃって、協力しながら活動することが出来ました。ありがとうございました。
- 会場の環境がとてもきれいでグループワークがしやすかった。普段できないような体験ができてとても有意義だった。
- まだまだ自分のアイデアが足りないなと感じ、これからのStudyに起爆剤として活用したい！
- 学生と企業の方、気象予報士が交流できる貴重な場所だと思うので、今後も続けてほしいと思った。
- 異なった分野の人とチームをくめるので斬新なアイデアが出て楽しかった。
- 分野が違うとこれほど多様な意見が出るのかと驚きました。人々が得たい情報をいかに伝えるかが大事だと思いました。
- 観光、IoTに関するアイディアが多いのがビックリでした。チーム構成はバランスがとれていると思いました。

8. アンケート集計結果

■ 気象予報士

- とてもバランスが良く、楽しいコンテストだと思います。こういう中から生まれたものをきっかけに、天気の分野の発展があれば良いと思います。
- チーム構成に関しては、天気のことをよくわかっていない一般人の割合がもっと多いと楽しいと思う。参加者の名前、気象予報士、所属などがわかる名札があると良かったと思います。
- やっぱり企画は結構かぶるものですね。グループ毎にテーマを（強制的に与えても良いかも。アイディアソンのコンセプトから外れるが）
- それぞれの個性や得意分野が生かされていたと思います。グループ分けとても適確で、また、進行もスムーズ・スマートで美しい会だったと思います。ありがとうございました。
- 参加したみなさんのアイデア力が素晴らしかったと思います。参加してよかったと思いました。貴重な経験となりました。
- 気象予報士のグループの配置のしかたがよかった。
- メンバーが4名（学生1名）だったので、少しバランスを欠くように感じました。

8. アンケート集計結果

■ 企業

- 異分野、多世代のワークがシゲキになりました。参加者の多様性がもう少しあるとさらにおもしろいかもしれません。
- チーム構成良かったです。（年代、職業のバラケ具合）
- 会場がよい環境で集中できました。
- 案を出してまとめて発表する。という経験は何度かやっているが難しい。
- 印象：とにかくよかった。新しい発見：ユーザエクスペリエンスの課題に気づかせてくれた。
  チーム構成：気象予報士+学生+・・・とてもよかった。
- 最初の導入講義部分をはれるんが行ったり、グループワークがゲーム形式で行われる等、楽しさを押し出して参加者のハードルを下げようとしていることがよく伝わってきて、非常になごやかな雰囲気で進んでいる印象がある。
- バランス良いチーム構成。特に学生のアイデアは豊かで面白い。
- 実現性にとらわれず皆様すごいと思いました。
- 気象予報士、企業、学生という様々な考えをミックスすることで、単体では生まれない発想が出てきたのがよかった。
- 是非次回も参加したい。
- 新しい発想があったりして、おもしろかったです。また、学生さんと意見交換でき新鮮でした。